

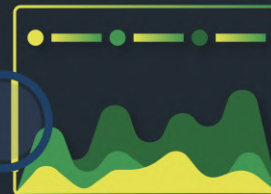
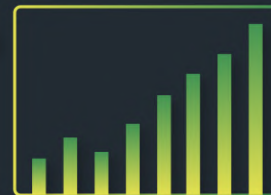
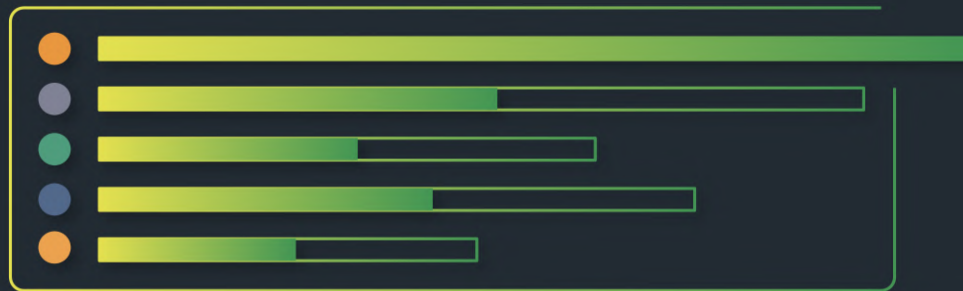


CoinGecko

Quarterly Report

Q2 2022

FULL REPORT



Market Data. Analysis. Crowdsourced Insights.

創業者ノート	2	DeFi 分析	25
マーケット概観	3	- 2022年Q2 DeFi概観	
- 2022年Q2 現物市場概観		- 2022年Q2 DeFi デイリーアクティブユーザー(DAU)	
- 2022年Q2 トップ30コインシェア		- 2022年Q2 DeFi マルチチェーンマーケットシェア	
- 2022年Q2 仮想通貨価格リターン		- 2022年Q2 DeFi エコシステム概観	
- 2022年Q2 トップ15ステーブルコイン概観			
- 2022年Q2 トップ30仮想通貨市場時価総額 & ビットコイン vs S&P 500			
- 2022年Q2 注目のイベントタイムライン			
ビットコイン分析	10	NFTs	30
- 2022年Q2 ビットコイン価格 vs 取引価格		- 2022年Q2 NFT トップ8チェーン 取引価格	
- 2022年Q2 ビットコインマイニング ハッシュレート		- 2022年Q2 NFTプラットフォーム 取引高	
- 2022年Q2 価格リターン: ビットコイン vs 主要アセットクラス		- 2022年Q2 NFTトレンド	
イーサリアム分析	14	- Solana NFTs	
- 2022年Q2 ETH価格 vs. 取引価格			
- Eth2.0 ロードマップ		取引所	35
- 2022年Q2 Ethereumコンセンサスレイヤー ステージング		- 2022年Q2 トップ10 仮想通貨取引所	
- stETH:ETH 価格乖離		- 2022年Q2 トップ10 中央集権取引所(CEX)	
Terra崩壊とその波及効果	19	- 2022年Q2 トップ10 分散型取引所(DEX)	
- 下降線を辿るアルゴ・アンステーブルコイン		- 2022年Q2 デリバティブ取引所 - ビットコイン無期限先物 取引高	
- 欠けた月		- 2022年Q2 デリバティブ取引所 - ビットコイン無期限先物 オープンインタレスト	
- UST & LUNAに何が起きたのか?		- 2022年Q2 デリバティブ取引所 - ビットコイン無期限先物 資金調達率	
- Terra / UST から Three Arrows Capital (3AC)		- 2022年Q2 GBTC 及び BITO パフォーマンス	
- 瀬戸際に立たされたCeFi企業			

Analysts:



Win Win



Benjamin Hor



Shaun Lee



Dillon Yap



Weng Dee



Jun Sheng



Zhong

今年も半分が過ぎましたが、2022年はクリプト市場にとって**不運な年**となるようです。現在9億ドルに達しているクリプト市場の総資産は、2021年11月のピークから前四半期比で約70%減少しました。BTCとETHは同程度に大暴落し、多くの人が底であると考えていた2017年バブルの最高値を下回りました。今振り返ってみると、Q1の好調は嵐の前の静けさだったようです。

無慈悲なマクロ経済環境によって投資家がリスクオフに傾く中、クリプト・ドミノの最初のブロックは2022年Q1になっても上昇を続けていた**Terra**でした。ピーク時の時価総額はLUNAが400億ドルでUSTが189億ドルでしたが、デススパイラルが凄まじい資金流出を促し、1週間も経たずに全てのスキームが崩壊しました。この崩壊の影響は、無謀にもUSTに資金を投入していた企業の**連鎖的な崩壊**を引き起こしました。

全ての暗号資産の大幅な価格下落が発生し、レバレッジポジションが連鎖的に清算・一掃されました。CEXでは毎週数十億ドルの清算が行われ、投機家が繰り返し打撃を受けました。最も顕著だったのは、現在破産/清算に直面しているのは**Three Arrows Capital**です。このレバレッジの源であるCeFiクリプトレンディング企業の多くも、現在他社からの救済または破産に直面しています。一方で、DeFiプロトコルはTVL及びトークン価値が大きく失われたものの、問題なく動作し続けました。

NFT分野も同様で、NFT全体の取引高はピーク時から26%減少しました。しかし、ブルーチップNFTのフロア価格はネイティブトークンベースではそれほど下落しておらず、これはおそらくレジリエンスの表れでしょう。また、今期はOpenSeaでの導入によって関心を高めた**Solana NFT**の登場もありました。しかし、SolanaではMagic Edenだけが愚恩のほとんどを享受している一方、Ethereumでは、LooksRareとX2Y2が新たな関心を示しており、NFTの取引活動はより多様になっています。

今期は総悲観的一色ですが、何か明るい材料はあるのでしょうか？まず、ズームアウトすることによって進歩を再確認してみましょう。ほんの3年前、クリプトは主にBTCとETH、そしてCEXでの投機だけでした。現在では、**独自のエコシステムを持つ複数のアルトチェーン**が存在します。DeFiは全てのチェーンにとって基礎となりました。そして、熱狂的なNFTファンは、**GameFi**や**Metaverse**のナラティブに拍車をかけながら独自のコミュニティを形成しています。

第二に、バブルの崩壊により業界は最後の強気相場を通して蓄積された多くの悪性物質を洗い流すことができます。昨年末には、ハイプが実際の発展レベルをはるかに上回り、全てが持続可能ではないことが明らかになりました。市場の後退による痛みは伴いますが、次なる儲けスキームを追い求めるのを止め、**ファンダメンタルズに再注目**することが重要です。

最後に、下落市場こそBUIDL(開発)に最適な時期だという点を強調したいと思います。**Ethereum マージ**は最終段階に到達し、アルトチェーンはスケーラビリティの解決策を見出すために資金調達を続け、DeFiプロジェクトはまだ新しいプロダクトをローンチし続けています。一部のCEXは従業員をカットしているかもしれませんが、多くのプロジェクトはまだ雇用を維持し続けています。CoinGeckoでは、クリプト業界の継続的な発展に対して長期的に強気であり続け、チームはフォーカスを研ぎ澄まし続けます。今後の展開にご期待ください。GeckoConが開催間近です！



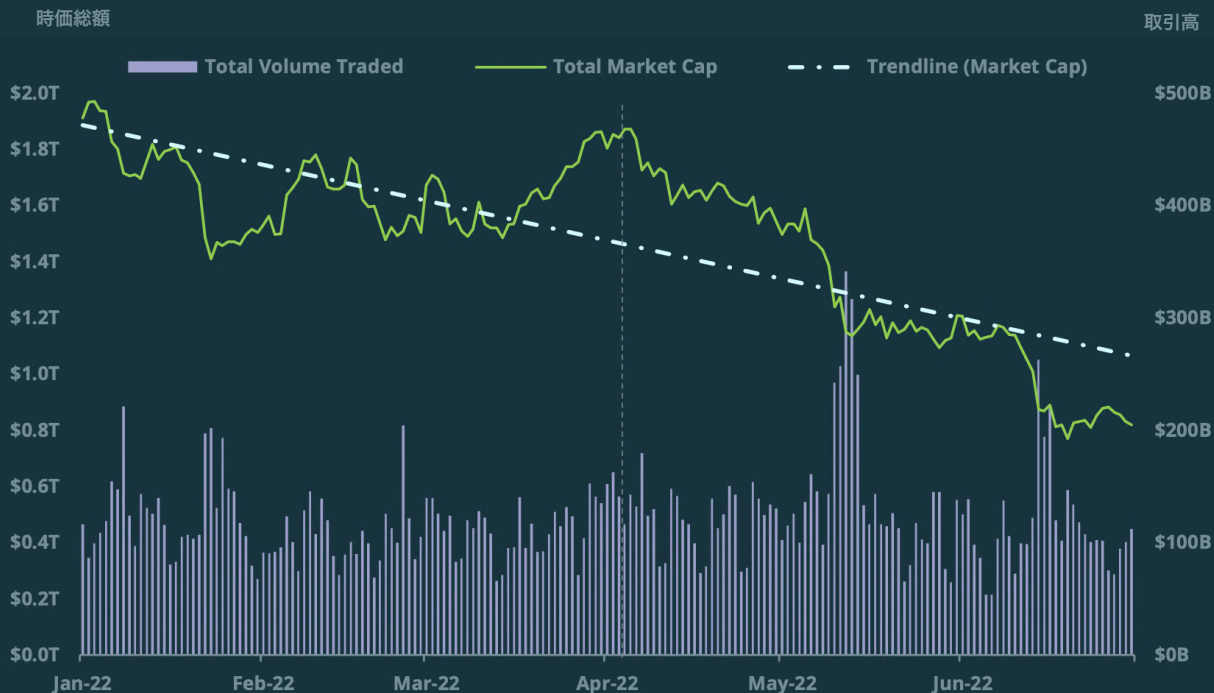
Bobby Ong
COO

TM Lee
CEO

マーケット概観

2022Q2 市場暴落

トップ30 マーケット時価総額 & 現物取引高 (2022年 1~6月)



-55.9%

トップ30 マーケット時価総額
変化率 2022年Q2

トップ30仮想通貨の時価総額は、2022年Q2に大きく打撃を受け半減し、1兆ドルを下回りました。

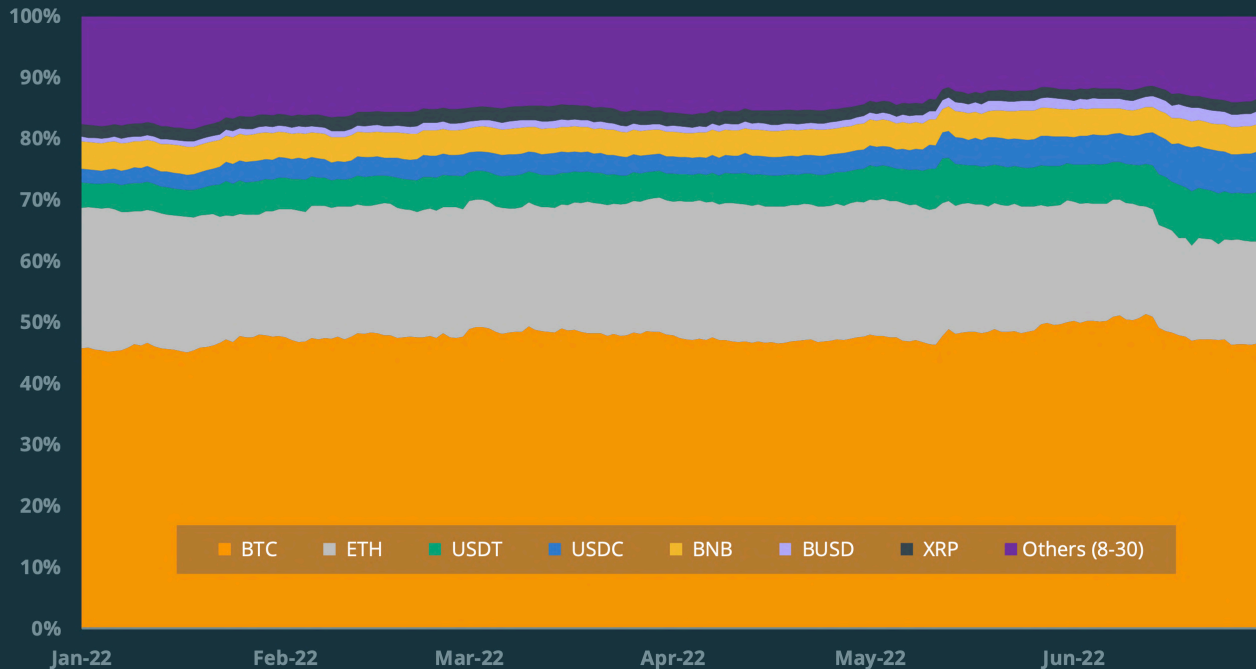
2021年11月のトップ30時価総額ATHの2.6兆ドルから時価総額は-68%下落、つまり-1.8兆ドルとなりました。

LUNCとUSTCは当然、WAVESとAXSもトップ30から転落した一方、XMR, OKB, LEO, UNIが割り込んできています。注目すべきは、ステーブルコインが大きく順位を上げたことで、以前13位だったBUSDと20位だったDAIは、現在それぞれ6位と12位になっています。

現物取引量は、Terraの影響により5月に急増し、6月中旬にはさらに売り込まれたものの、Q1と比較して比較的堅調に推移し、約1,000億ドル水準となりました。

BNB及びステーブルコインのシェア上昇

トップ30コインシェア (2022年 1~6月)



46.8% (48.1%)	16.3% (21.9%)
8.1% (4.4%)	6.8% (2.8%)
4.4% (4.0%)	2.1% (0.94%)
1.94% (2.23%)	15.7% (17.6%)

ビットコインのQ2シェアはQ1とほぼ変わらず46.8%で推移し、ETHは21.4%から16.3%に低下しました。

上位15では、BNBが4.4%、DOGEが1.1%、TRONが0.73%とシェアを伸ばしました。

上位30では、ステーブルコインであるUSDT, USDC, BUSD, DAIが現在17.8%のシェアを占めています。

2022年Q2 LEOだけが血の海をプラスリターンで乗り切った

	Q2 2022	Q1 2022
Top-5 Cryptocurrencies		
BTC	-56%	2%
ETH	-67%	-8%
BNB	-49%	-13%
XRP	-60%	3%
ADA	-59%	-9%
Top-5 DeFi Tokens		
LINK	-63%	-12%
UNI	-55%	-31%
AAVE	-71%	-13%
MKR	-56%	-7%
GRT	-80%	-26%
Top-5 Exchange Tokens		
BNB	-49%	-13%
LEO	1%	61%
FTT	-49%	34%
OKB	-42%	-26%
CRO	-75%	-15%
Top-5 Play-To-Earn Tokens		
SAND	-69%	-40%
MANA	-66%	-18%
AXS	-77%	-31%
GMT	-65%	1402%
GALA	-78%	-40%

2022年Q1は大きなダメージを受けなかったトークンもありましたが、Q2の残酷な市場の落ち込みを免れることは誰にもできませんでした。Q2の大惨事を思えばQ1の下落はかわいいもので、ほとんど全てのトークンが2桁%の損失を被りました。

マーケット全体の価値半減に伴い、上位5つの通貨は2022年Q1に大きく損失を被り、平均損失率は50.9%となりました。中でもETHは価格リターンの観点で最大の打撃を受けた一方、BNBは最も下落幅が小さかったトークンとなりました。

トップ30内の唯一の例外は、Bitfinexの取引所トークンLEOで、Q2は+1%でプラスを記録、Q1の+61%上昇を維持しました。その他のコインは全て大きな損失を被り、最も大きな打撃を受けたのはAVAXで、82%もの下落を記録しました。

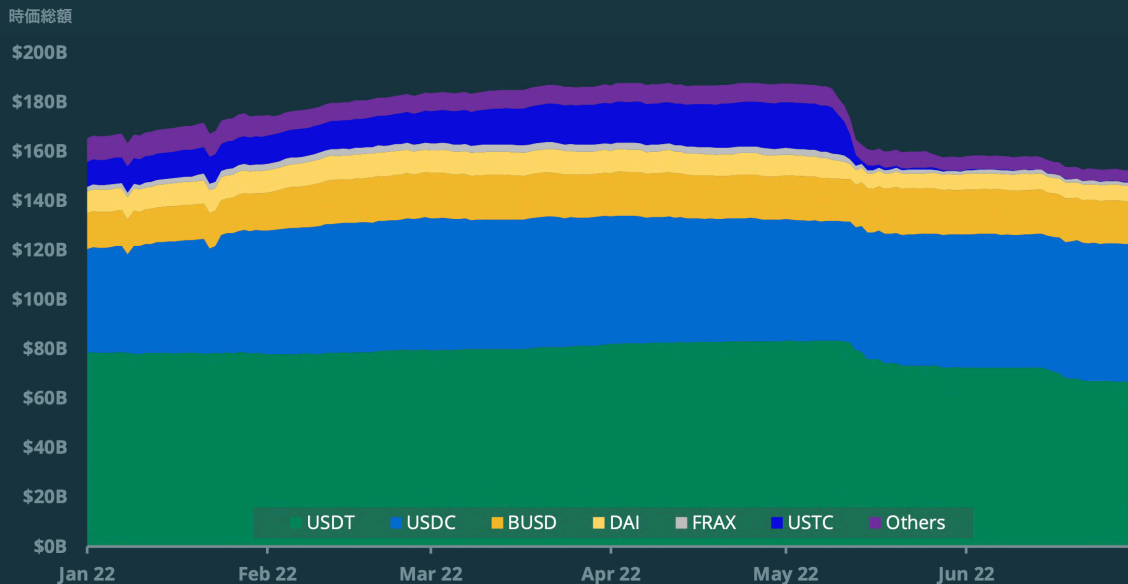
DeFiは死んでしまったのでしょうか？ DeFiプロトコルのサービス自体は引き続き好調ではありますが、DeFiトークン評価額は急落し続けています。DeFiは2022年Q1の大きな損失に加え、Q2に膨大な追加損失を記録した唯一のセクターです。

Q2トップパーフォーマーであったLUNA(現LUNC)は、完全に蒸発してしまいました。

トップ5取引所トークンは平均して-43%と最も少ない損失だった一方で、上位5位のP2E銘柄は71%の損失で最も大きな打撃を受けました。最初の1ヶ月で14倍になったSTEPNのガバナンストークンGMTはその後Q2に60%以上下落しています。

ステーブルコインにとって過酷な四半期

トップ15 ステーブルコイン時価総額 内訳 (2022年 1~6月)



-18.3%

トップ15 ステーブルコイン
時価総額 減少率 2022年Q2

トップ15のステーブルコインは、前期比で時価総額をほぼ5分の1、-339億ドルを失いました。

USTCは、180億ドルの時価総額が蒸発する以前、BUSDを抜いて第3位のステーブルコインとなっていました。Q2末時点では、ペグが回復しないにもかかわらず7位につけています。一方、USTCのメルトダウンに伴い、FRAXがトップ5入りを果たしました。

Q2はTetherのシェアが20%近く減少したものの首位を維持した一方、USDCが7%近い伸びを示し、最大の成長を記録しました。また、FRAXとDAIはそれぞれ48%と32%の時価総額を失いましたが、これはおそらくアルゴリズム・ステーブルコインであることによる負の波及効果によるものでしょう。

ステーブルコインの市場シェアが（USTCを差し引いても）減少傾向にあったことは、市場の不透明感に問わずステーブルコインへのリスク回避が見られたQ1とは対照的に、一定の資本がクリプトから完全に撤退したことを示唆しています。

\$66.5B
-\$15.4B (-18.8%)

\$55.6B
+\$3.5B (+6.7%)

\$17.6B
+\$0.1B (+0.5%)

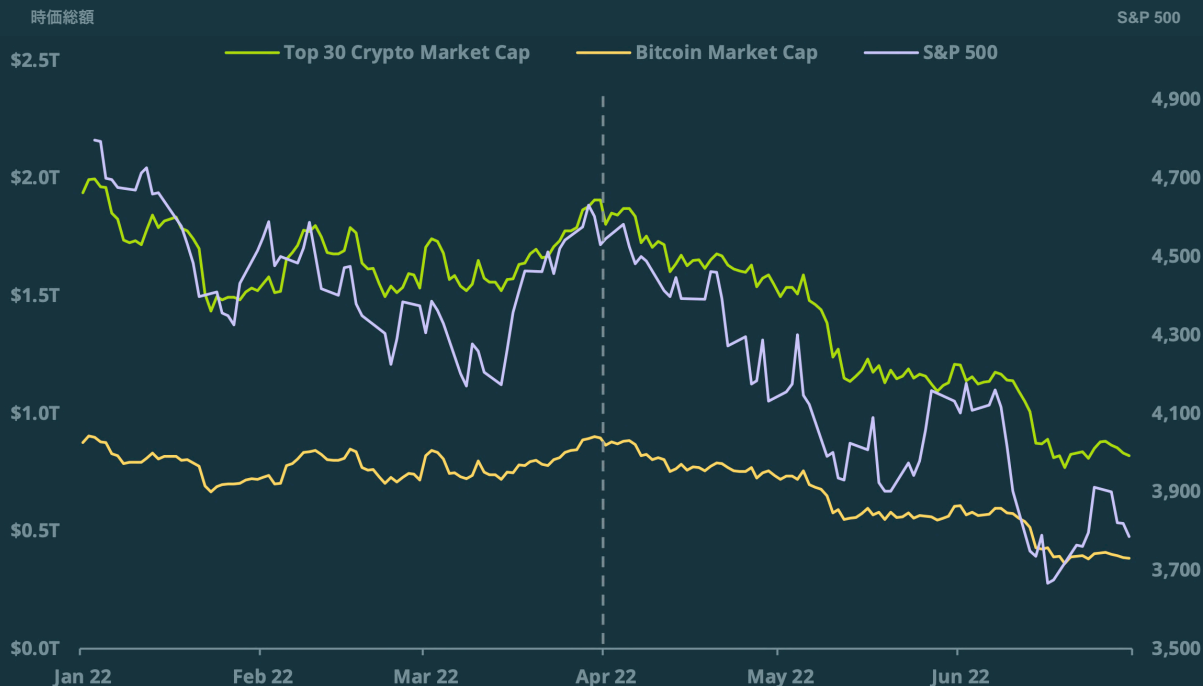
\$6.3B
-\$2.9B (-31.5%)

\$1.4B
-\$1.3B (-48.1%)

2022年Q2 トップ30 仮想通貨時価総額 & ビットコイン vs S&P 500

2022年Q2 2つのアセットクラス間の高い相関

トップ30仮想通貨 時価総額 vs. S&P 500 (2022年 1~6月)



2022年Q2の仮想通貨時価総額トップ30とS&P500の相関は0.92（高相関）でした。これは、2021年Q1の相関係数0.72よりも遥かに高い数値です。

CoinMetricsのデータによると、BTC-S&P500 60dの相関は2022年5月25日にさらにATHの0.75に達し、強い相関性を示していました。その後、2022年6月30日時点で0.67に低下しています。

上位30の時価総額もビットコインと連動して動いており、両者の関係は事実上、~1と完全な相関関係にある。

前回のレポートで取り上げたように、大多数の投資家がクリプトをリスクの高い資産クラスと認識しています。よって既存金融市場との相関性は驚くほどのものではありません。

2022年Q2 注目のイベントタイムライン

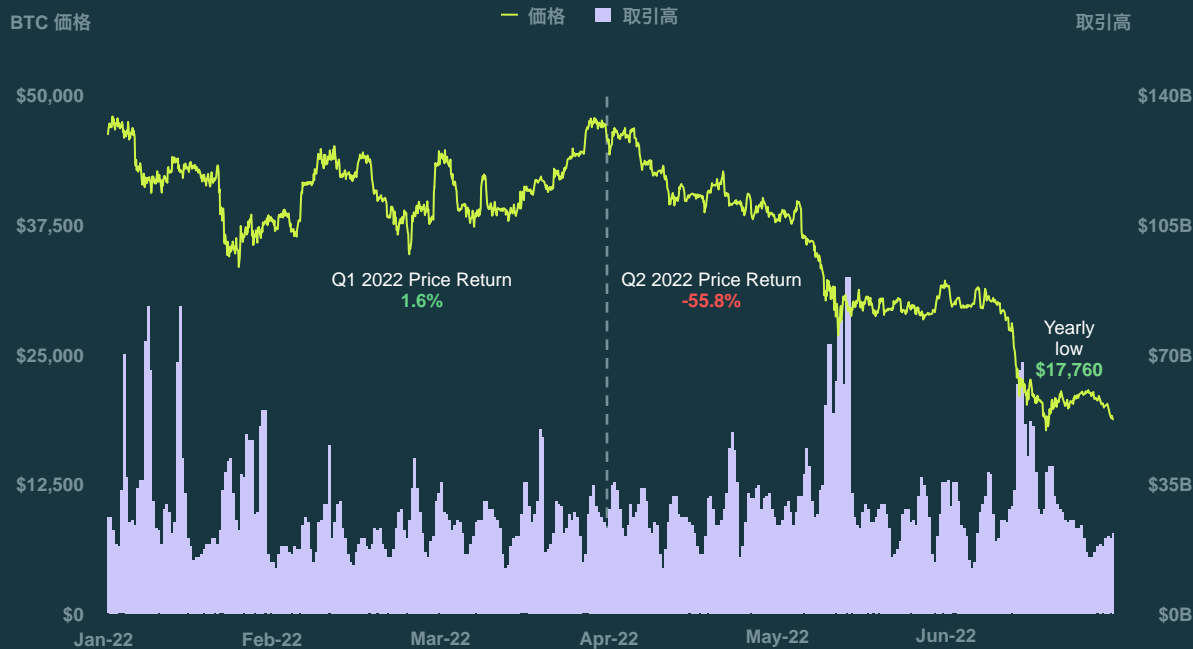
Q2はクリプトにとって大きなマイルストーンが多数あった



ビットコイン分析

ビットコイン暴落

ビットコイン価格 及び 現物取引高 (2022年 1-6月)



-55.8%

BTC価格リターン 2022年Q2

BTCは2022年Q2を通じて下落傾向にありました。一時は史上初の9週連続の陰線を記録し、30kドルや20kドルを含む複数のサポートを突破し下落し続けました。

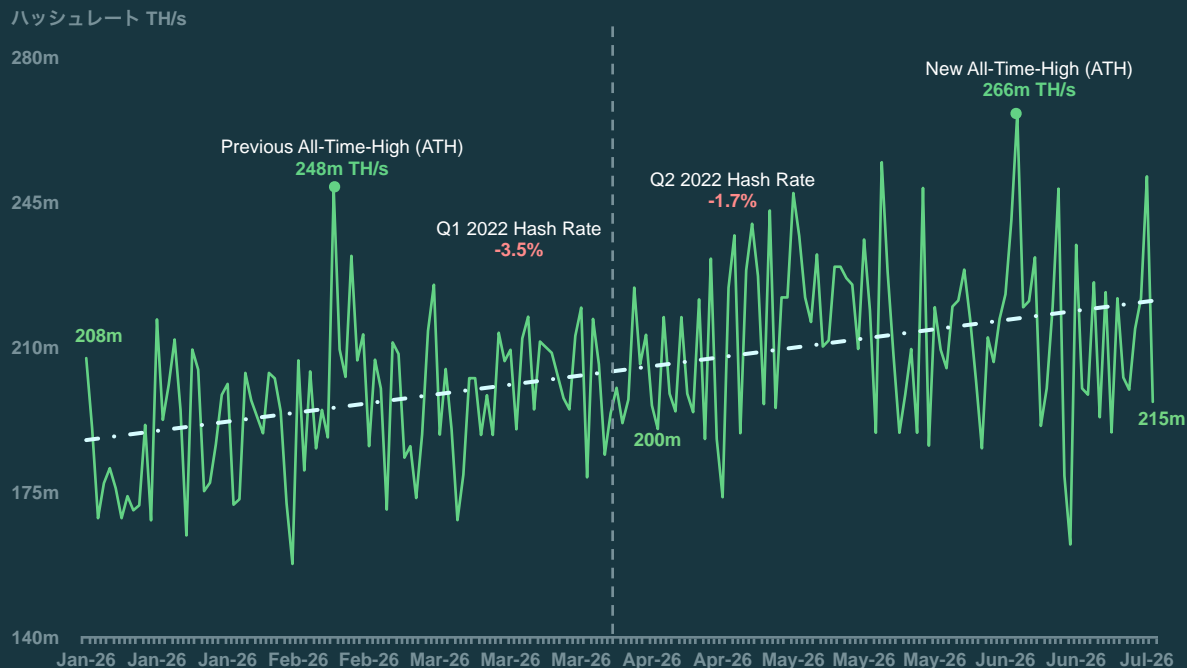
BTCは一時、前サイクルの高値をも下回る年初来安値17,760ドルをつけた後、反発して20kドルに回復しました。

Q2にBTCに影響を及ぼした注目イベント:

- **株式市場** の大幅下落
- **LFG財団** によるUSTベッグ維持を目的とした保有BTC売却
- **Three Arrows Capital** (GBTC大量保有) **破綻危機**がBTCの下落を促す
- **SEC**がGreyscale's Bitcoin ETF申請を却下

BTC価格の下落にも関わらずハッシュレートは上昇傾向に

ビットコイン 合計ハッシュレート (2022年1~6月)



-1.7%

ビットコインハッシュレート
減少 2022年Q2

ビットコインの合計ハッシュレートはQ2後半にますます不安定になりました。おそらくマイナーが現在の不安定な市場環境に悪戦苦闘していることの表れでしょう。

BTC価格の下落はマイナーにとって収益性の低下を意味し、一部は廃業に追い込まれました。余力のあるマイナーは競争の激化に乗じてハッシュレートのシェアを増加させ、それがハッシュレートを再び押し上げます。そしてそのサイクルが繰り返されます。

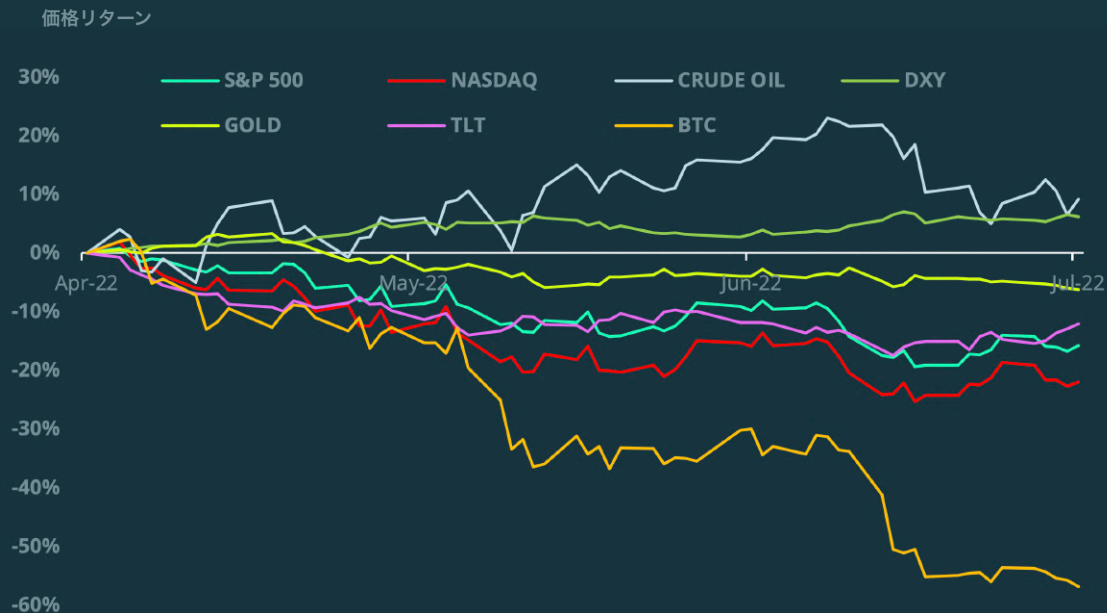
マイナーによる部分的な保有BTCの売却も報告されており、下落圧を助長しています。より多くの企業が流動性不足に陥り、**Q3はさらに状況が悪化すると予想されます。**

このような状況にもかかわらず、全体のハッシュレートは(今のところ)上昇傾向にあり、6月8日にはATHを更新しています。

2022年Q2 価格リターン：ビットコイン vs. 主要アセットクラス

USD及びオイルは上、他アセットは下

ビットコイン vs. 主要アセットクラス 2022年Q2



	Q2 2022 Return	Q2 2021 Return
BTC	-55.8%	-40%
CRUDE OIL	7%	22%
S&P 500	-17%	8%
NASDAQ	-23%	9%
DXY (US Dollar Index)	7%	-1%
GOLD	-6%	3%
TLT (Treasury Bonds)	-13%	6%

主要な資産クラスと比較すると、ビットコインは最もパフォーマンスの悪い資産となりました。資産クラスのうち、**原油とDXYのみがプラスとなっています。**原油の供給制限と金利上昇がその理由と思われる。

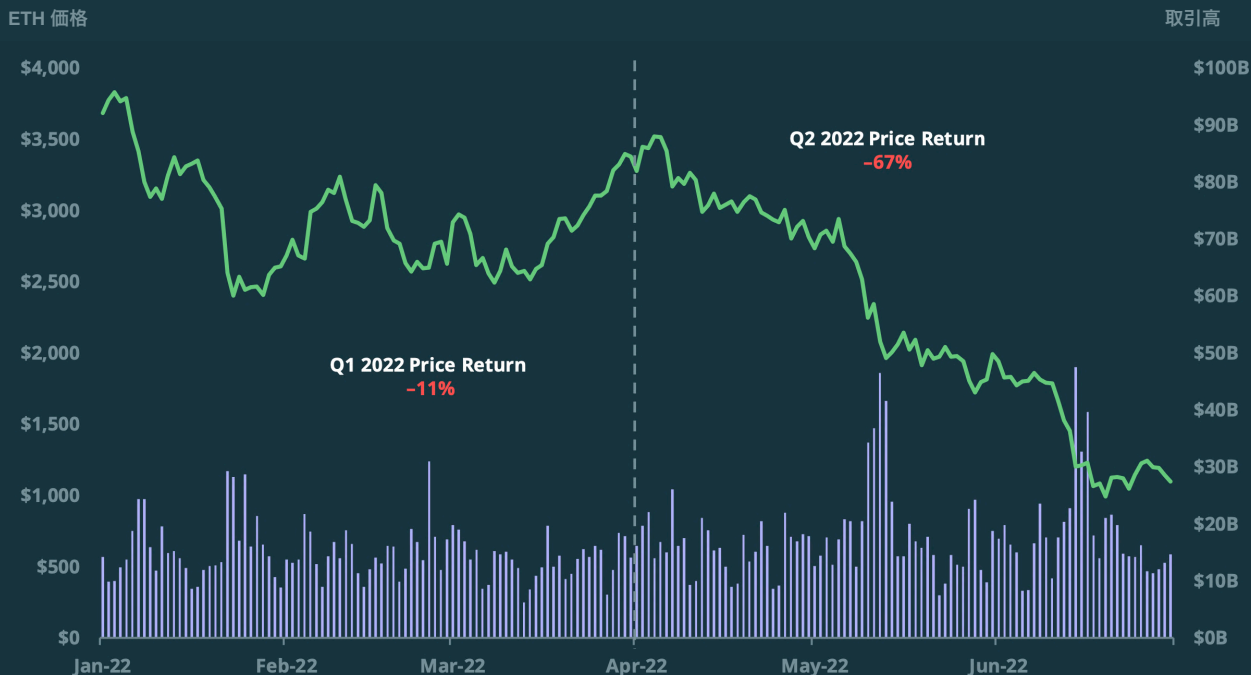
BTCは米国株の動きを**ほぼ追随**しており、FED(連邦準備制度理事会)が利上げを発表する度に下落していました。

ビットコインと株式の相関関係は年を経るにつれ**上昇傾向にあります。** 況に突入してこの流れに変化が訪れるか否かが注目されます。

イーサリアム分析

ウルトラ・サウンド・ドロップ

ETH価格 及び 現物取引高 (2022年 1~6月)



-67.4%

ETH価格リターン 2022年Q2

BTCと同様に、2022年Q2のETHは明確な下落トレンド下にありました。4月初旬から6月中旬にかけて、ETHは11回の週末陰線を記録しましたが、これも初めてのことです。

ETHは一時900ドルを割り込みましたが、すぐに1000ドルに回復し、現在は200日単純移動平均線をサポートとして保持しています。

Q2にETHに影響を及ぼした注目イベント:

- **Terra崩壊** - bETHのレバレッジポジションの大規模清算
- **stETHデベッグ**
- **Gray Glacierハードフォーク** とディフィカルティボムが9月中旬へ延期

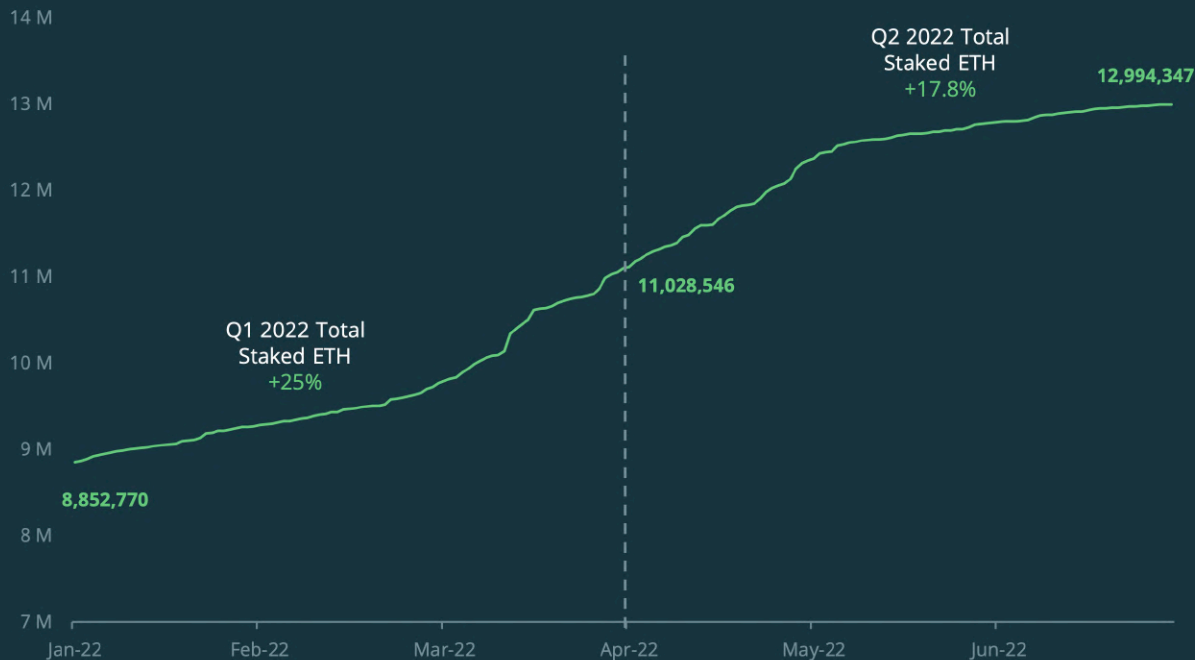
Eth2.0 は “コンセンサスレイヤー”に改名され、テストネット上でのThe Mergeを完了



2022年Q2 Ethereumコンセンサスレイヤー ステーキング

2022年Q1 急上昇の後、ステーキングETH量は頭打ちになりかけている

コンセンサスレイヤーへの累計ステーキングETH (2022年 1~6月)



+17.82%

合計ステーキングETH 2022年Q2

2022年Q2末時点で、**ETH供給量の約11%**を占める**約1300万ETH**がステーキングされました。

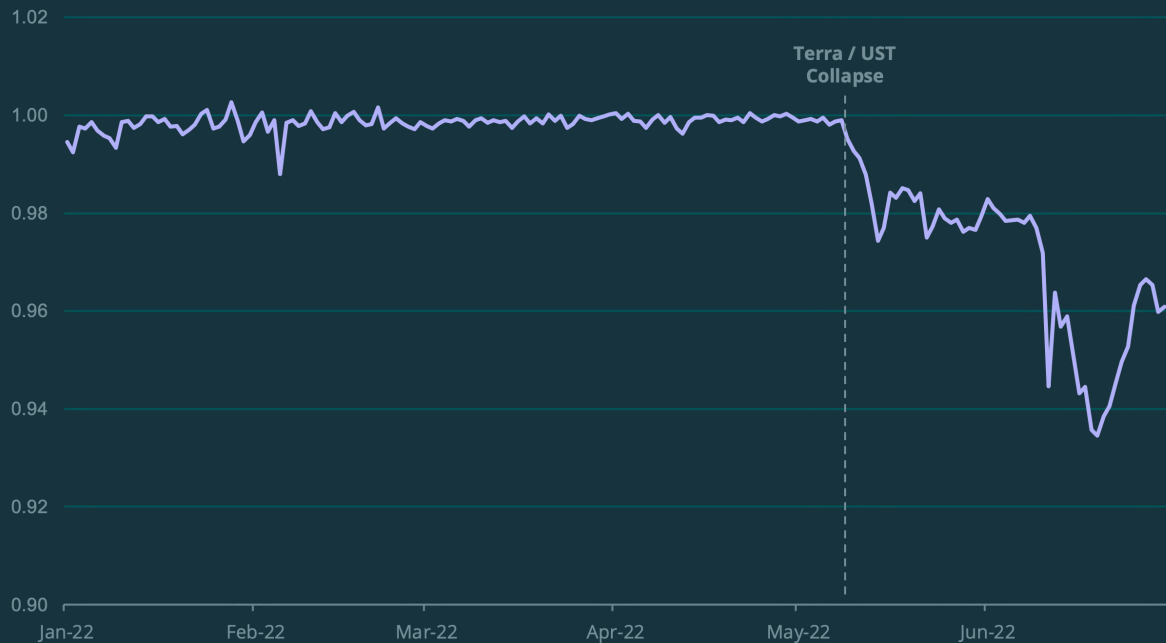
The Mergeとディフィカルティボムが9月に延期されたため、Q1のKlinテストネットマージ後とは異なり、**Ropsten**と**Sepolia**テストネットのマージ後にETHステーキングが急増することはありませんでした。

ETHステーキング率は、4月だけで**9.52%**増加し、その後5-6月に**少し減速**しました。

stETHの価格変動にもかかわらず、**Lido**はバリデータ数で最大のETHステーキングサービスとなりました。Lidoは全ステーキングプールの中で**31.76%**のシェアを持っています。

Terraの暴発をきっかけとしたstETHデベック

stETH:ETH 比率 (2022年 1~6月)

**0.9346**

過去最低の stETH:ETH 比率

Terra崩壊に伴い、ユーザーはbETHをブリッジを介してメインネットへと戻し、Curve経由でETHに変換していました。同時に、Celsius, 3AC, Amberといった大規模LPもプールから流動性を引き上げました。

Celsiusや3ACはポートフォリオを回復させるために引き出しを続けていました。

現在、ETHの流通供給量は約420万です。stETHの供給量は全ステーキングETHの約30%、ETH流通総量の約3.5%に相当します。

stETH-ETH CurveプールのTVLは、4月5日のピーク時の56億ドルに比べ、7億1,800万ドルまで低下しています。

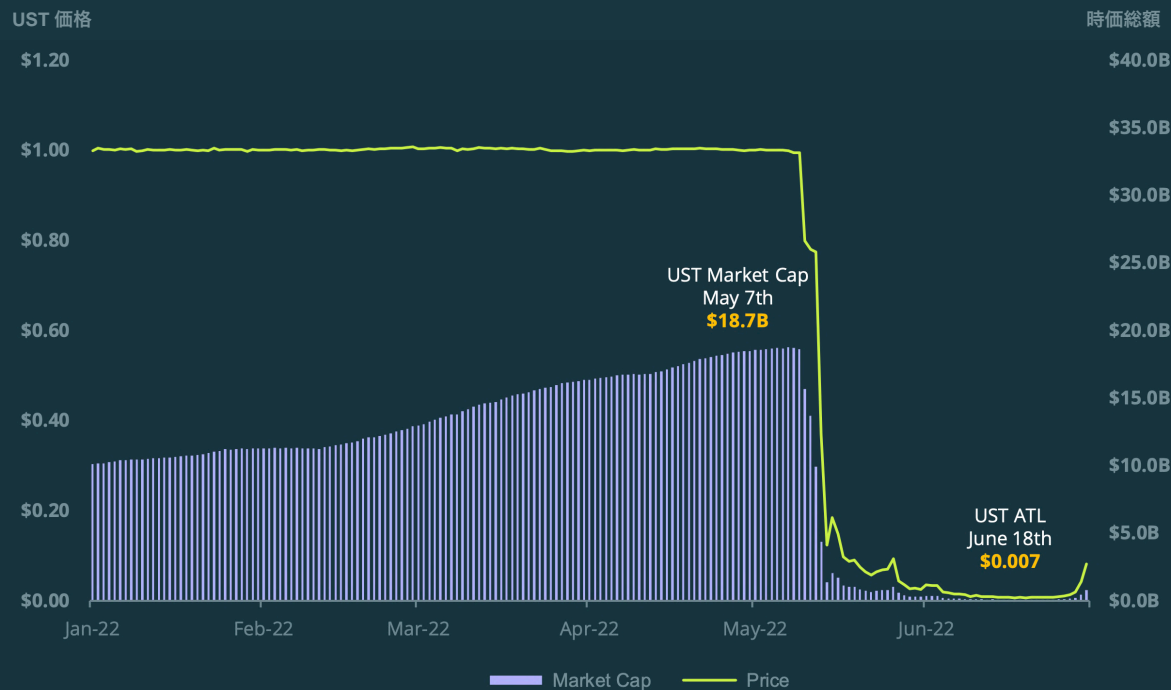
stETHとETHの交換はマージ後にアンロックされます。ユーザーはLidoにETHをステーキングする際にスマートコントラクトリスクに注意する必要があります。

TERRA崩壊とその波及効果

下降線を辿るアルゴ・アンステーブルコイン

時代の寵児だったステーブルコイン、崖から転げ落ちる

UST価格 & 時価総額 (2022年 1~6月)



-95.7%

UST時価総額
ピークから6月30日

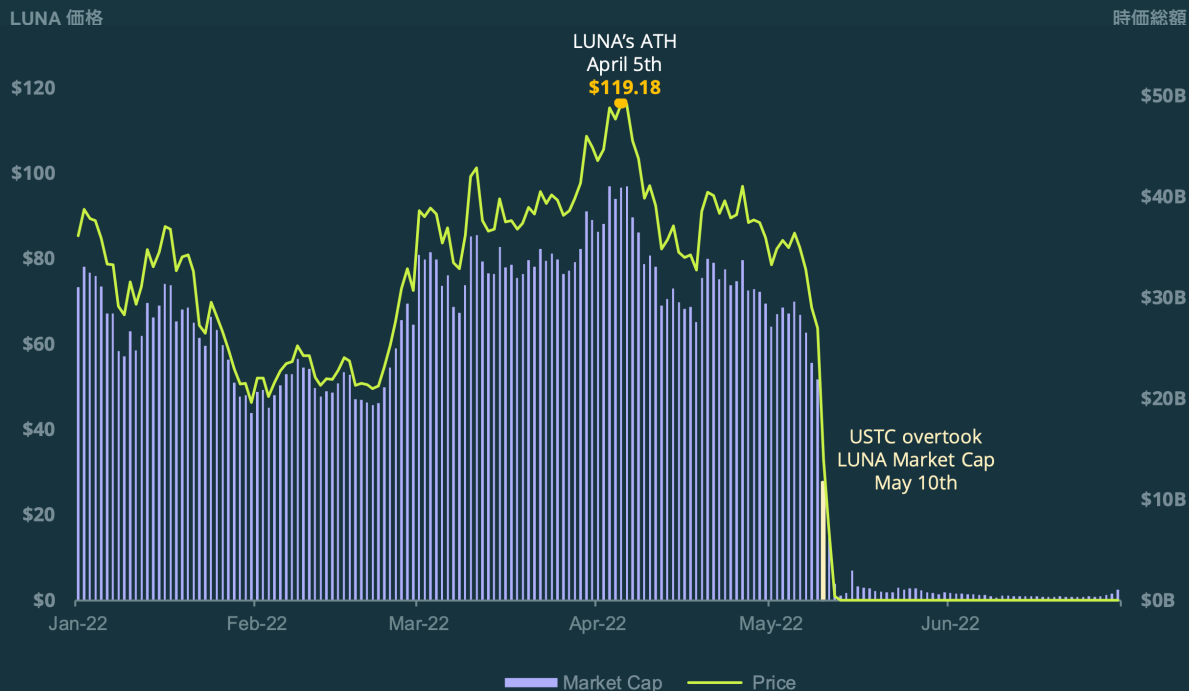
USTはその成長速度を超えるスピードで崩壊しました。ピーク時の時価総額は187億ドルだったのに対し、6月末にはわずか8億700万ドルまで落ち込みました。

LUNAとUSTの償還機能が停止されたことにより、UST供給量の減少は止まりましたが、結果として98億USTがまだ流通しています。

このデペッグイベントにより、USTの時価総額は99%下落し、6月下旬には0.007ドルの最安値を記録しました。しかし、6月末には0.05ドルまで反発しています。

USTデベッグのドミノ現象はLUNA暴落を引き起こした

LUNA価格 & 時価総額 (2022年 1~6月)



+190万%

LUNA 供給量増加

LUNAの仕組み: UST価格の下落時、その供給量を吸収し価格を上昇させるために新しくLUNAが発行・売却されます。これにより、理論上市場の裁定者がUSTを購入しLUNAへと変換するため、ベグが回復します。

デベッグ: LUNAはUSTの投げ売りを吸収することができませんでした。USTのバーンは続きましたがベグは回復せず、LUNA価格が底なしに下落しました。

LUNAの価格が下がり続けると、1USTに対してより多くのLUNAが発行されます。最終的にLUNAは、USTの時価総額がLUNAの時価総額を下回り、**デススパイラルに陥りました**。このため、**LUNAの供給量は指数関数的に増加し、価格は99%下落しました**。

Source: CoinGecko
*LUNA and UST mentioned in this slide refers to LUNC (Terra Classic) and USTC (UST Classic)

UST & LUNAに何が起こったのか?

イベントのタイムライン



5月
1-5日

Anchorの準変動収益レートが導入。以前の20%APYから若干引き下げ。AnchorのTVLは5月5日に**171.5億ドル**と過去最高となった。

5月
7-8日

市場の低迷後、USTが他のステーブルコインに大量に変換された。USTのデペッグが起これ、**0.98ドル**まで下落。しかし、LFG(Luna Foundation Guard)が介入し、ペグはすぐに回復。

5月
9日

UST保有者が売りを続けたため、USTのペグは長くは保たなかった。ペグは**0.60ドル**まで下降した際、**LFGの介入**により一時的にリバウンドした。ただ残念ながら、それは長くは続かず再び底なしに急落した。

5月
12日

LUNA価格の急落によりネットワークの安全性が脅かされたため、**Terraブロックチェーンは一時停止された**。一旦再開されたものの、その後再び9時間停止した。

5月
16日

Do KwonはTerraのフォークを提案し、現在のチェーンはTerra Classicに改名される。USTはTerra 2.0と呼ばれる新しいチェーンから除外された。

5月
28日

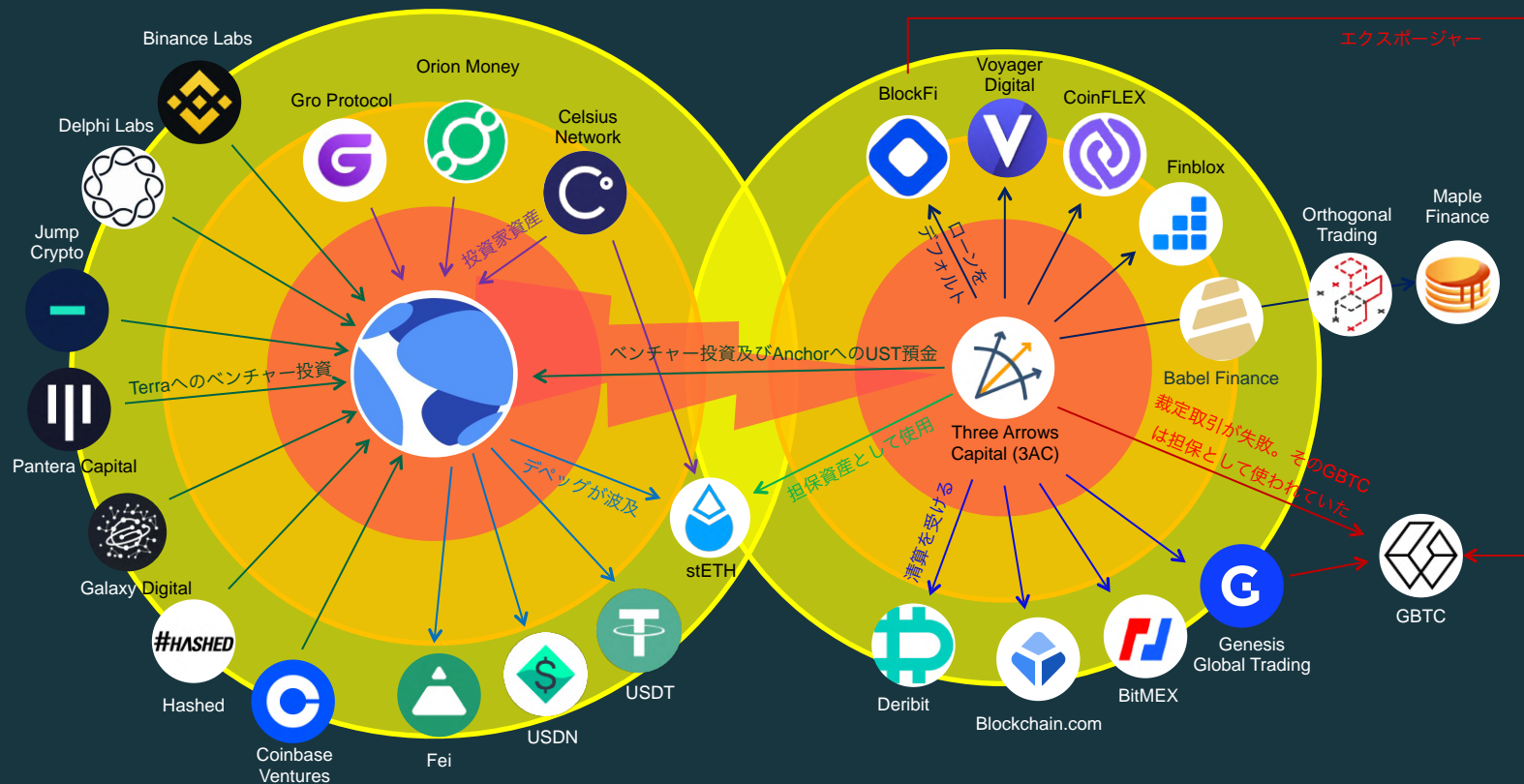
Terra 2.0ローンチ。デペッグ時のUSTとLUNA保有者にエアドロップを配布。

現況:

- ▶ LUNAとUSTの投資家は、Terraform Labsに対して、各国で複数の訴訟を起こしています。
- ▶ 創業者のDo Kwonは韓国で国会聴聞会に召集されました。
- ▶ 韓国のTerraform Labsの現/元従業員は出国を禁止されています。
- ▶ Terraの影響は他の企業にも及び、多くの企業が債務超過に陥っています。

Terra / UST から Three Arrows Capital (3AC) へ

Terra崩壊のドミノ現象の被害を大きくを受けたThree Arrows Capitalは現在清算の危機にある



Celsius, BlockFi, Voyagerは、合計少なくとも~250億ドルのAUMを有していたが、現在債務超過に直面している

Celsius

- Celsius Networkは、2018年に設立された米国に拠点を置くクリプト・レンディング企業。
- 2022年5月11日現在、同プラットフォームは**118億ドルの資産と200万以上のコミュニティメンバー**を抱えている。
- 同社は、2021年10月に30億ドルの評価額で7億5000万ドルの最後に調達ラウンドを実施。
- Celsiusは**DeFiプロトコルBadgerDAOとStakehoundの流出事件で被害に合っていた**。
- また、同社のレンディングプロダクトを証券と見なす**米国の金融規制当局に悩まされてきた**。
- 取り付け騒ぎの発生を恐れ、Celsiusは6月13日、**全ての出金、交換、送金を一時停止した**。
- 凍結前、Celsiusは**stETHの最大保有者**であり、様々なDeFiプロトコルで**利息を得るためにレバレッジポジション**を持っていた。
- その後、Celsiusは**再建の専門家を雇用**。また、Goldman SachsがCelsiusのアセットを買収する準備を行っているという噂もある。
- 現在Celsiusは、**DeFiプロトコルへのローンを着々と返済している**。

BlockFi

- BlockFiは、2017年に設立された米国ベースのクリプト・レンディング企業。
- 同社は2021年末時点で**50万以上の顧客を抱え、100億ドル以上の資産を運用している**と報告されている。
- 2021年3月に**30億ドルの評価額**でシリーズDラウンドを調達した。
- 2022年2月、BlockFiはSECによる告発を解決するため、**1億ドルの罰金を支払うこと**に合意した。和解の一環として、同社は米国人に対するBIAプロダクトの提供を停止した。
- 6月上旬、BlockFiが10億ドルの評価額で**ダウンラウンド**を検討しているとの報道がなされた。翌週、**同社は従業員の20%を解雇した**。
- Celsiusの債務超過が報道される中、6月13日、BlockFiはCelsiusやstETHへの**エクスポージャーは一切ないこと**を明らかにした。
- 6月17日、BlockFiは3ACと推定される**大口顧客の過剰担保債務ポジションを清算した**と発表。
- 7月2日、BlockFiはFTXから4億ドルの借入を行い、さらにFTXが最大2億4千万ドルでBlockFiを買収するオプションに合意した。この融資枠は**全ての顧客資金の補償に当てられる**。

VOYAGER

- Voyager Digitalは、2018年設立のTSXに上場しているクリプト・ブローカー/レンディング企業。
- 2022年6月時点で、同社の**ユーザー数は350万以上**で、**運用資産は58億ドル規模**であった。
- 22年3月31日までの9ヶ月間、**1億9400万ドル以上の営業損失**を計上。5月にAlameda Researchが主導する第三者割当増資で7500万ドルを調達し、6月17日にAlamedaからさらに2億ドルと15000BTCの借入を行なった。
- 6月22日、同社は**3ACに対するエクスポージャーが6億5000万ドルあること**を公表。これは同社の融資残高の58%に相当し、そのほとんどが無担保である。6月28日に3ACに債務不履行の通知を出した。
- 7月1日、**Voyagerは全ての取引、入出金、ロイヤリティリワードを停止した**。
- 7月5日、同社は**連邦破産法第11条の適用**を申請。裁判所の承認に基づき、口座に仮想通貨を保有する顧客は、仮想通貨、3ACからの回収資産、再建後の新会社の普通株式、Voyagerトークンなどで補償を受け取る。同社はこの申請後、**TSXでの取引が停止された**。

DEFI 分析

DeFiの優位性は、市場下落によって損なわれ続けていた

DeFi時価総額 及び 市場全体に対するDeFiシェア (2022年 1~6月)



-74.6%

DeFi時価総額の減少
2022年4月1日比

DeFiの時価総額は、仮想通貨市場とともに、3ヶ月の間に1420億ドルから360億ドルと、激しい下落に見舞われました。

DeFiの時価総額は、TerraとそのステーブルコインであるUSTの崩壊を主要因として大きく失われました。Terraエコシステムに関しては、USTやLUNAをサポートするプロトコルら含め完全に一掃されました。

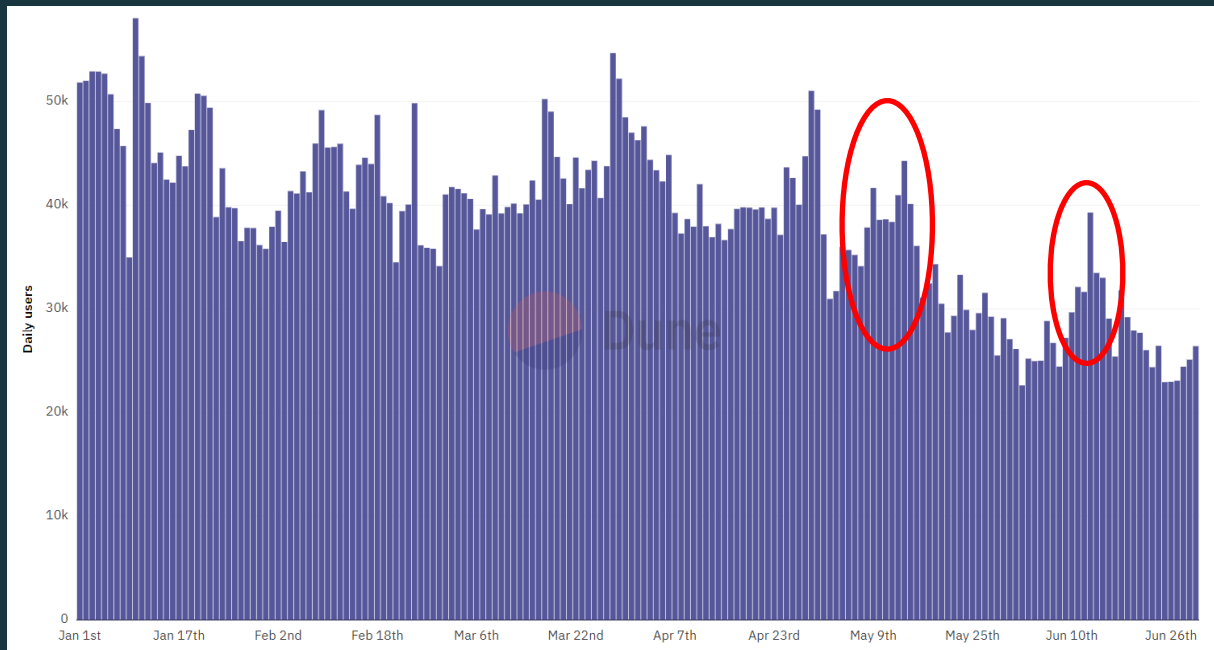
注目すべきは、パニックが他のステーブルコインにも広がり、USDTの大規模な償還や他の他のアルゴ・ステーブルのデベックを招いたことです。

それに加えて、Q2にはInverseやRariなどのプロジェクトを筆頭としてDeFi流出事件が急増しました。投資家らがこれらのプロトコルへの信頼を失ったため、トークン価格は大きく下落しました。

2022年Q2 DeFi デイリーアクティブユーザー(DAU)

オンチェーンでの活動が鈍化する中、DeFiは多くのユーザーを引き止めることに成功した

Ethereum デイリーDeFiユーザー (2022年 1~6月)



-34.5%

平均デイリーDeFiユーザー
減少 2022年4月1日比

時価総額が大きく落ち込んでいる一方で、DeFiのアクティビティはずっと好調に推移しているようです。

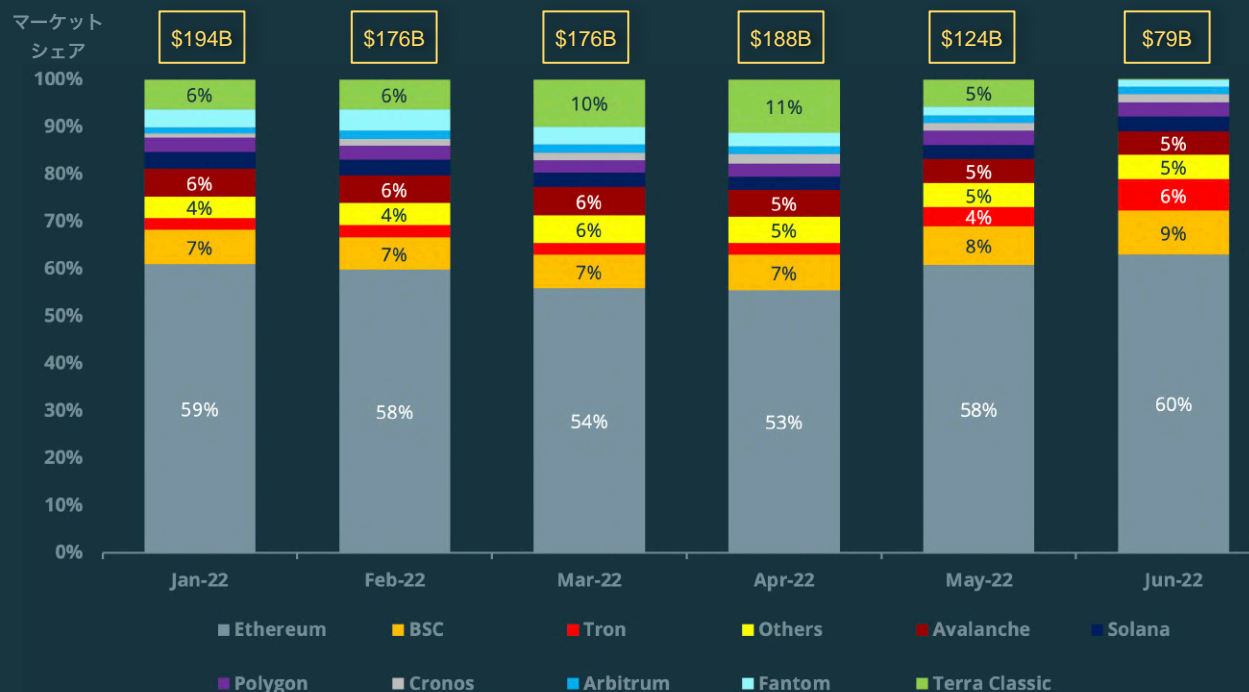
デイリーアクティブユーザーは5万近くから3万弱に減少しましたが、Q2にはDeFiのニーズが真に輝いた事例が複数ありました。

5月上旬、Terra崩壊で複数のCEXが取引を停止したため、DeFiの利用者が急増しました。CurveやUniswapでは、LUNAやUSTの売却需要ないし取引量が増加したのです。

6月13日のCelsiusの出金停止をきっかけに、DeFiのデイリーユーザーは24%急増しました。中央集権的な企業が問題を起こす度に、人々はパーミッションレスな性質を持つDeFiサービスに移る傾向があります。

Terra崩壊後のシェア競争

マルチチェーンTVL 内訳 (2022年 1~6月)



-55.1%
マルチチェーンDeFi TVL
2022年4月1日以降

2022年Q2は、アルトチェーンが縮小に転じたため、EthereumはTVLのシェアを一部取り戻し、54%から60%まで回復しました。ただ全体のTVLは2022年Q1と比較して52%低下しています。

Avalanche、Polygon、Solanaは、市場全体の低迷の影響を受けつつも、それぞれのTVLシェアを維持しました。

TronのTVLは48億ドルから39億ドルに減少しましたが、アルゴ・ステーブルであるUSDDがローンチされたことで、TVLシェアは2%から6%と3倍増加しました。

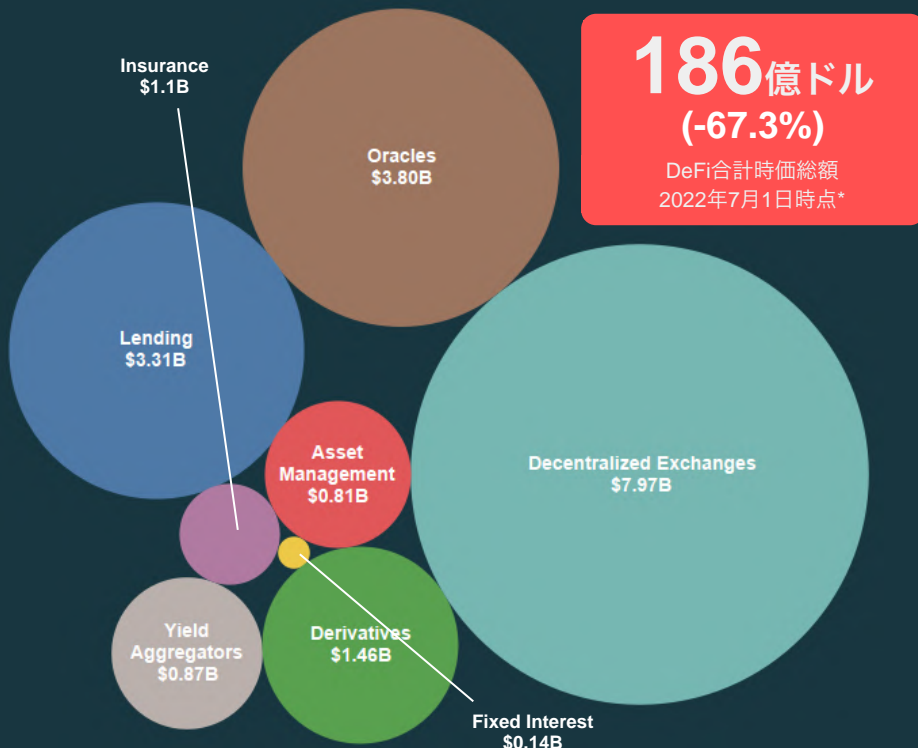
5月にUSTとLUNAが破綻し、TerraのTVLはわずか5%まで縮小しました。6月末には2100万ドル強が残っていましたが、新ネットワークTerra 2.0のTVLはそれよりもさらに少なく、1300万ドルしかありません。

Source: [DefiLlama](#)
*Monthly TVL is calculated by taking the average TVL on daily basis for each month.
*After the collapse of Terra in May 2022, the original Terra network was renamed as Terra Classic.

2022年Q2 DeFiエコシステム概観

相場の影響を受け、多くのDeFiは沈み込んでいる

時価総額 各DeFiカテゴリ (2022年Q2)



Weightage (By 2022 Q2 Market Cap Share)	Sector	QoQ % Change
	Total DeFi Market Cap	-67.3%
42.7%	Decentralized Exchanges	-70.6%
20.4%	Oracles	-60.9%
17.7%	Lending	-67.2%
7.8%	Derivatives	-68.0%
4.7%	Yield Aggregators	-76.7%
4.4%	Asset Management	39.7%
2.1%	Insurance	-65.2%
0.2%	Fixed Interest	-72.8%

2022年Q2もDeFiの惨劇は続き、主要なDeFiセクターは最大77%もの大幅な時価総額減少に見舞われました。DeFiセクター全体では、ETHが3,300ドルから1,100ドルに急落したのと同時に、前半四半期と比較して時価総額の~67%を失いました。

DEXの取引高は年間を通してかなり安定していますが（詳細は後のスライドを参照）、時価総額に関しては話が別です。DeFi最大のセグメントであるDEXトークンは価格が急落し、全体のマーケットキャップが約191億ドル減少しました。

しかし、血の海の中にも、まだ希望が残っています。アセットマネジメント部門の市場シェアは1%から4.4%に上昇し、保険部門を上回りました。Tensetが牽引し、今期の時価総額は40%増となりました。

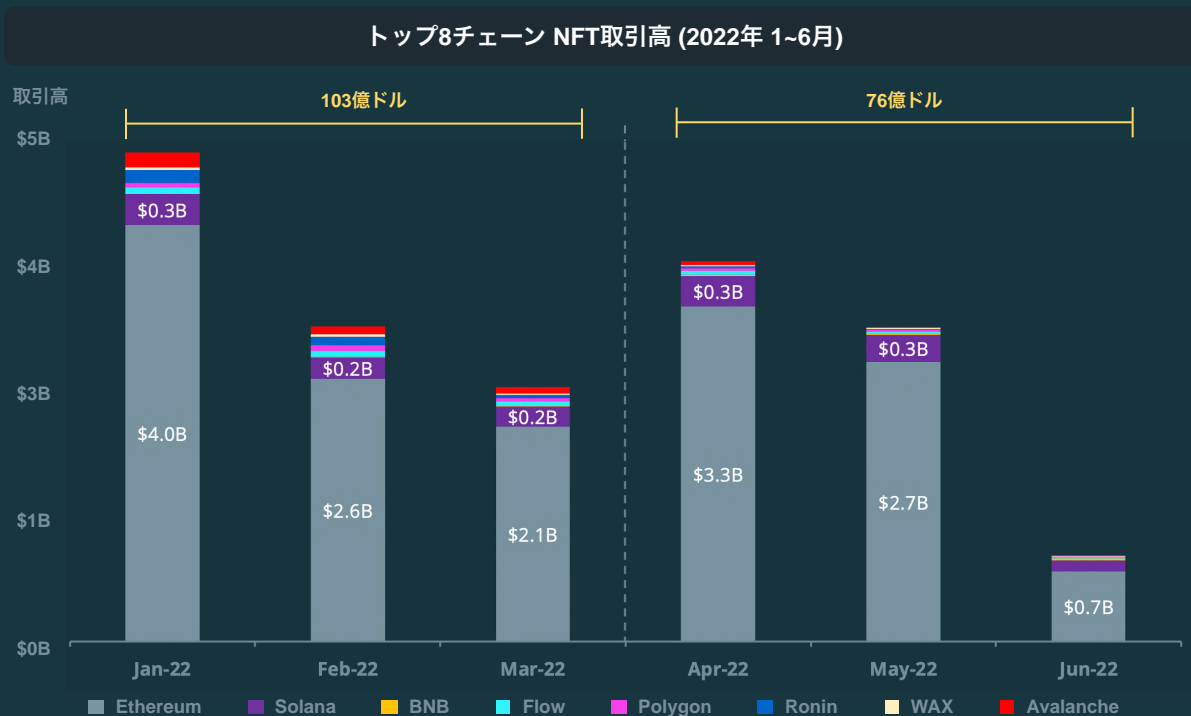
Source: CoinGecko

* Categorical market cap includes only governance and utility tokens (excluding stablecoins and wrapped tokens)

NFTs

2022年Q2 トップ8チェーン上のNFT取引高

6月のNFT取引高は前年同期比で減少した一方、SolanaとBNBは増加傾向



26.2%

取引高減少
2022年Q1~Q2

Q2の取引高は26.2%減少し、6月の取引高はわずか~8億3000万ドルにとどまり、NFTサマー前の2021年6月以来の低水準となり、弱気市場によりJPEGはズタズタにされた。

6月のNFT市場シェアは83%で、Ethereumは依然として圧倒的に優位なチェーンです。

ただX2Y2の**仮装売買**による取引量（6月だけで\$600M）を差し引くと、Ethereumの牙城を崩さんとする最新の強敵Solanaと、**比較的转变りはない**ように見えます。

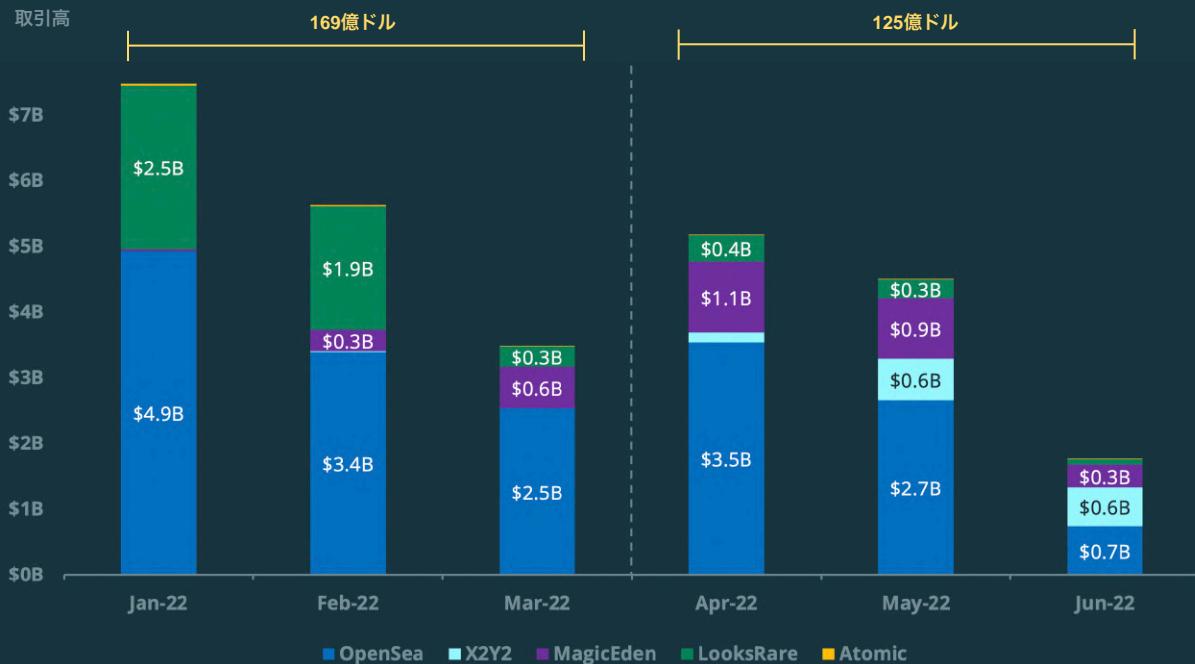
BNBはSTEPNの影響で、取引高が増加した**唯一のチェーン (+611%)**となりました。しかし、中国が今後**STEPNを禁止**することから、**この数字は少なからず減少する**でしょう。

一方Roninは、流出事件と収益モデルの崩壊により、低迷を続けています (-88%)。

2022年Q2 NFTプラットフォーム取引高

市場縮小の中で、競合が台頭しOpenSeaのシェアが低下

トップ5 NFTマーケットプレイス (2022年 1~6月)



26.0%

取引高減少
2022年Q1~Q2

OpenSeaは、首位の座を揺るぎないものになっています。しかし、5月と6月、Magic EdenとX2Y2が追いつき、OpenSeaの日次、週次ボリュームを交互に追い越したようです。

OpenSeaによるSolana統合は「裏目に出た」ようで、SolanaNFTに門戸を開いた一方、結果的にはMagic Edenの方が恩恵を受けることになりました。NFT市場のパイは縮小したかもしれませんが、Magic EdenはQ2末時点でより大きなシェアを獲得しています (32%)。

Q1のLooksRareと同様、X2Y2の取引高は、トレーダーが払い戻し及びインセンティブ・プログラムに乗じて**仮装取引**を行ったため、急速に上昇しました (これがなければ、LooksRareとほぼ同じ取引量になります)。

優良な手数料体系にも関わらず**未だOpenSea**に遅れをとるLooksRareとX2Y2ですが、徐々にその地位を確立しつつあるのは事実です。

Source: [Dapp Radar](#) and [r@chen8 from Dune Analytics](#)

*OpenSea volumes includes Ethereum, Polygon and Solana

**A different data source is used for this slide compared to the previous slide

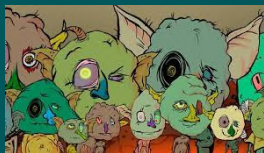
スニーカーとゴブリンはさておき、PFPの大移動が始まった？

Move-to-earn



- ▶ STEPNの台頭により、move-to-earnが脚光を浴びるようになりました。4月のピーク時には、STEPNは1日に30万人以上のユーザーを記録しています。靴は1足1,200ドル以上で取引され、**GST**と**GMT**は史上最高値を更新し、プレイヤーは1日に48ドルもの利益を得ていました。
- ▶ しかし、**トークノミクスの設計に問題があったこと**と、**中国での禁止措置が重なり**、その後関心が薄れ価格が急速に下落しました。
- ▶ もう一つのポケモ的なmove-to-earnのプロジェクトである**Genopets**は現在リリース間近です。その**フロア価格の上昇**から判断すると、STEPNのオーディエンスの多くを捕らえたようですが、今後上手くいくか否かは時間が証明してくれることでしょう。

Goblins & Free Mints



- ▶ “No Roadmap(ロードマップ), No Discord, No utility(ユーティリティ)”という言葉がGoblintownのウェブサイトに書かれているにも関わらず、**Goblintown**の上昇は止まりませんでした。この上昇は予想外でしたが、驚くべきことではありません。クリプトは常にナラティブとミームが物を言う世界であり、Goblintownの自虐的なユーモアは、弱気市場にて適切なタイミング・場所を狙った巧みな戦略だったと言えます。
- ▶ Goblintownの成功を受けて、多くの無料発行プロジェクトやコピーキャットが生まれました。多くのトレーダーがローリスク・ハイリターンの賭けに乗ったため同NFTはしばらくの間 (PunksやApesをも超えて) チャートを席巻しましたが、過去の多くのミームと同様に関心はすぐに薄れました。

Art Blocks



- ▶ **ArtBlocksへのPFP大移動**は単なる偶然ではありませんでした。幾度となくArtBlocksは市場の混乱期に数量と価格を伸ばしています。
- ▶ PFPプロジェクトは一般的に、NFTのファストファッションのようなもので、大衆にアピールするためにありふれたアートスタイルでデザインされています。一方、Art Blocksの特徴は、ハイアートに最も近い作品であることです。
- ▶ 市場が低迷しているとき、トレーダーは伝統的価値の高いよりタイムレスな作品に慰めを求めるのが普通です (チャンネルのバッグのデザインを思い浮かべてください)。

OpenSeaとMagic Edenは、Solanaエコシステムへのゲートウェイを築きました



- ▶ NFT最大のマーケットプレイスOpenSeaにSolanaが統合され、エコシステムに注目が集まる
- ▶ Solanaの月間ボリュームは4月に50%急増し、Solanaコレクションは定期的に取り高上位に食い込んだ



- ▶ STEPNやMove to Earnの台頭で、Solana NFTに新たなユーザーの波が押し寄せた
- ▶ 他の新進気鋭のSolana NFTプロジェクトにも波及効果をもたらした



- ▶ Solana上の代表的なNFTプラットフォームであるMagic Edenも、ユーザーの活動が活発化し、爆発的に普及した
- ▶ 日次/週次取引高でOpenSeaを何度も超えたこともある。最近1億3000万ドルを16億ドルの評価額で調達した 🚀。



- ▶ 弱気なマクロ経済の影響によりNFT市場も縮小しているが、SolanaはEthereumのNFT市場シェアを削り取ってきている
- ▶ 実際、最新の数字では、仮装取引を割り引いた後の出来高で、Solanaはイーサリアムと同程度になっている
- ▶ SolanaのNFTは一般的にEthereumのブルーチップのように長い寿命は持っていない。この勢いを長期的に維持できるかどうかを試されている

注目の Solana NFT コレクション



OkayBears

フロア: 100 SOL 取引高: 180万 SOL

- ▶ Solana NFTとして初めてOpenSeaの取引高チャートで連続首位を獲得
- ▶ BAYC、MAYC、PunksなどのEthereum上の巨人を抑え、トップ2の座に躍り出る



Trippin' Ape Tribe

フロア: 18.0 SOL, 取引高: 481k SOL

- ▶ "Flipping(反転)"を主導
- ▶ MagicEdenは5月24日、25日の1日の出来高でついにOpenSeaを抜いた



DeGods

フロア: 299 SOL 取引高: 741k SOL

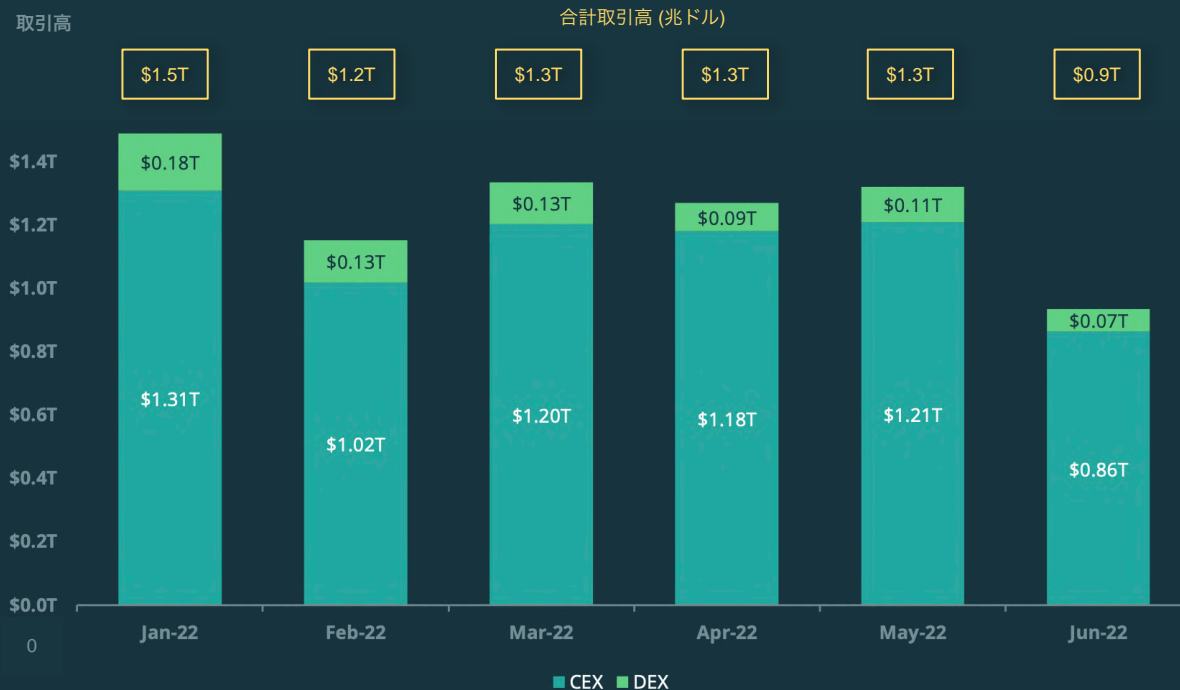
- ▶ 法外な値段で話題になったSolanaの「ブルーチップ」コレクション
- ▶ デフレ性を持つSolana NFT初コレクション
- ▶ NFTは2枚 (DeadGod + DeGod) 保有

取引所

2022年Q2 トップ10仮想通貨取引所

月間現物取引高が2021年Q1以来初めて1兆ドルを下回る

トップ10仮想通貨取引所 (CEX + DEX) 取引高 (2022年 1~6月)



-11.3%

トップ10 (DEX + CEX)

合計取引高減少 2022年Q1~Q2

不況が迫り、市場のデレバレッジが進む中、クリプト市場に対する関心は冷ややかなレベルまで低下しています。

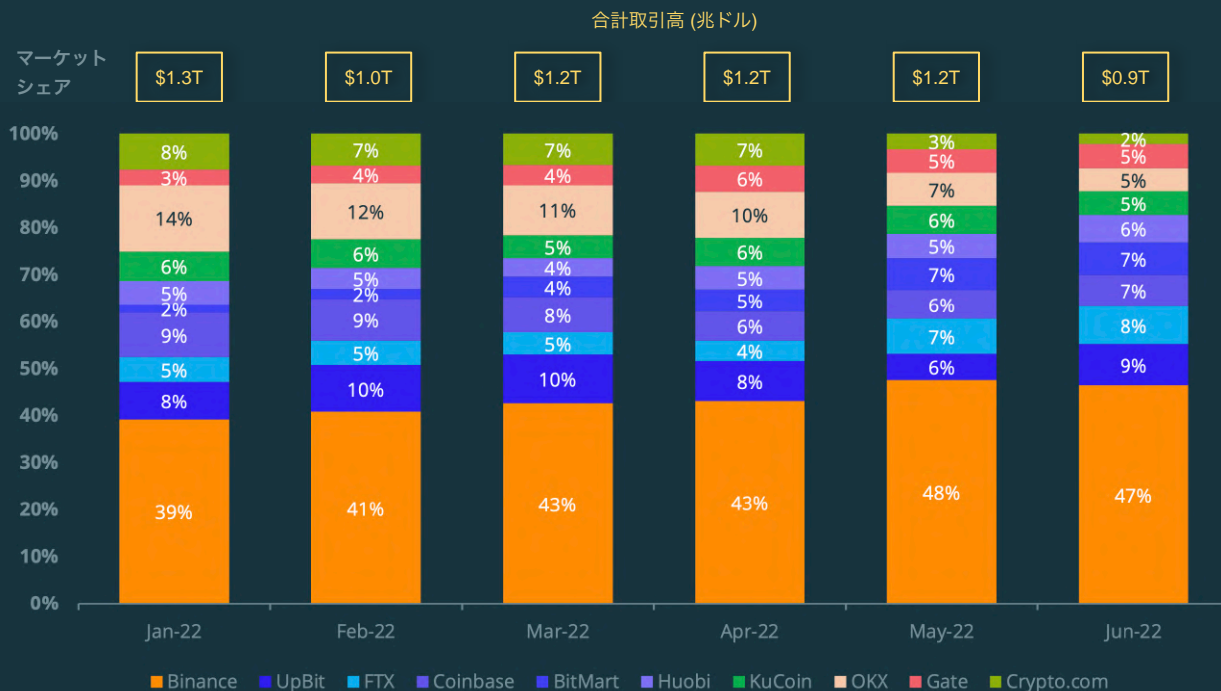
2022年Q2の月間現物取引高は、1兆ドルを超え1.3兆で固まった後、2022年6月に最終的に0.9兆ドルまで下落しています。1兆ドルを下回るとは、2021年初頭の強気市場が始まった時以来起きていません。

中央集権的企業のリスクが顕在化しているにも関わらず、CEXはそのシェアを高め続けています。CEX:DEXの比率は、2022年Q1の89%からQ2には92%に増加しています。

2022年Q2 トップ10 中央集権取引所(CEX)

BinanceはCEX市場の約50%のシェアを獲得し、優位を際立たせる

トップ10CEX 取引高内訳 (2022年 1~6月)



-7.9%
 トップ10CEX 合計取引高
 減少率 2022年Q1~Q2

トップ10CEXは、2022年Q2に合計3.25兆ドルの現物取引高を記録しました。これは2022年Q1からやや減少し、6月はこれまでで最も低い出来高を記録しました。

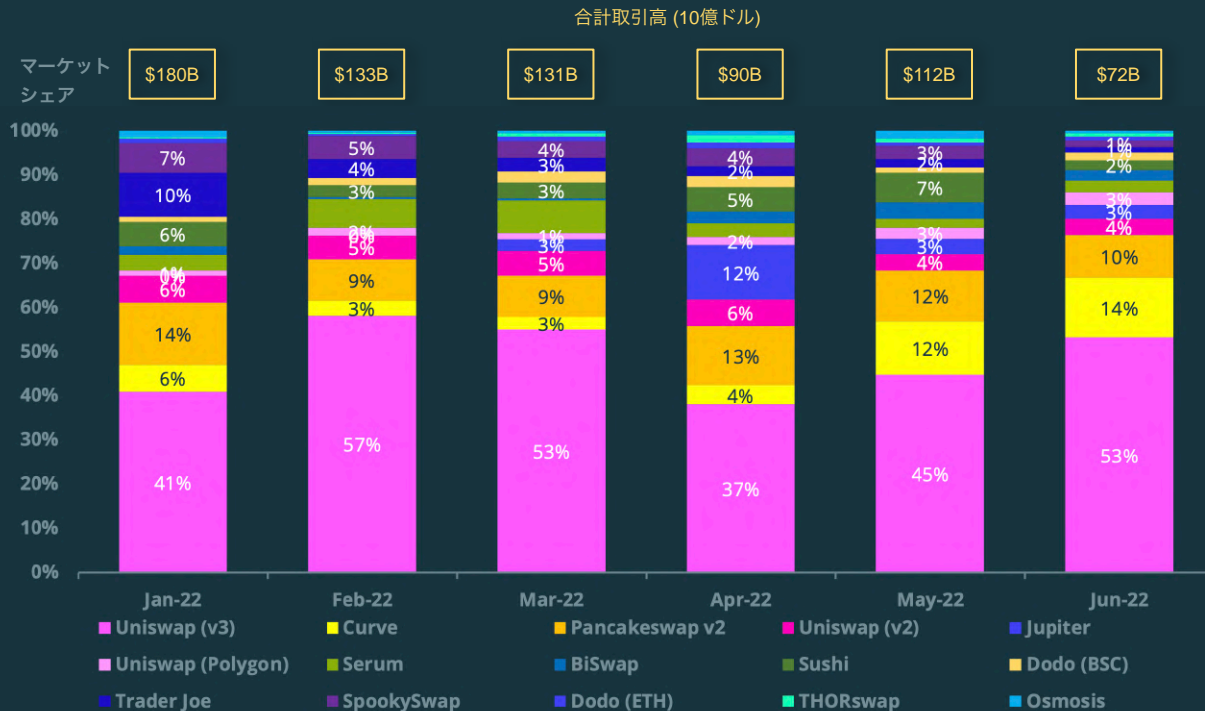
OKXとCrypto.comはともに2022年Q2に50%以上のシェアを失いました。反面、FTXは着実に成長しており、2022年Q2末には市場シェアを2倍近くまで伸ばしています。

しかし、市場全体の50%近くを占めるまでにシェアを伸ばしたBinanceには、誰も太刀打ちできていません。

2022年Q2 トップ10 分散型取引所(DEX)

2022年Q1の月間取引高は、平均して1,000億ドルを下回っている

トップ10DEX 取引高内訳 (2022年 1~6月)



-38.6%
 トップ10DEX 合計取引高
 減少率 2022年Q1~Q2

トップ10DEXは、**2022年Q2に合計2740億ドルの現物取引高を記録し**、月平均は920億ドルとなりました。合計4460億ドル、月平均1490億ドルを記録した2022年Q1と比較してみてください。

全てのチェーンを合計しても、Uniswapは依然として**市場シェア60%で支配的なDEX**です。しかし**最大の成長率(383%)**を記録したのはCurveです。これはおそらく、(崩壊した)USTCプール及び弱気相場でのステーブルコインへの退避の両方が原因でしょう。

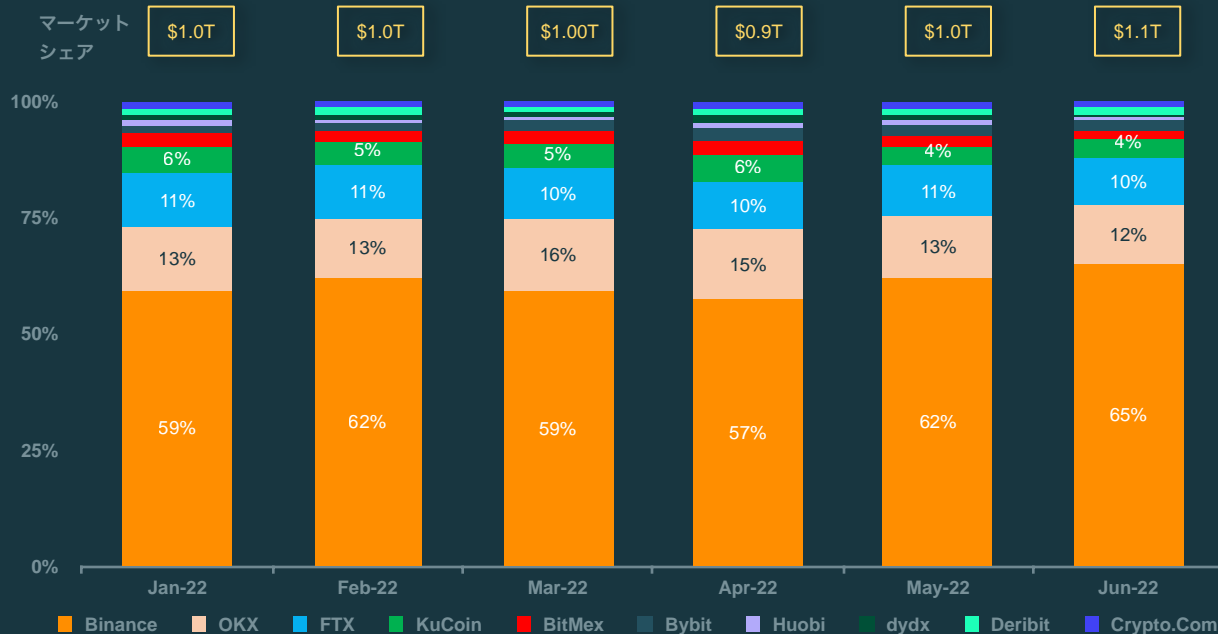
注目すべきは、Solana (JupiterやSerumなど) やBNB (DodoやPancakeswapなど) のDEXが**相対的にシェアを伸ばす又は維持しており**、Ethereum以外のチェーンで実際に市場が動いていることを示している点です。

2022年Q2 デリバティブ取引所 – ビットコイン無期限先物 取引高

BTC無期限先物の出来高は、下降気味の値動きにもかかわらず堅調に推移している

ビットコイン無期限先物 取引高シェア 月間集計 (2022年 1-6月)

合計取引高 (兆ドル)



-2.4%

トップ10ビットコイン無期限先物
取引高減少 2022年Q2

トップ10デリバティブ取引所におけるビットコイン無期限先物の取引高は、2022年Q2にわずかに70億ドル減少しました。

2022年Q2の月間取引量は、相場の急落にも関わらず、2022年Q1の取引量と同程度の~1兆ドルで推移しています。

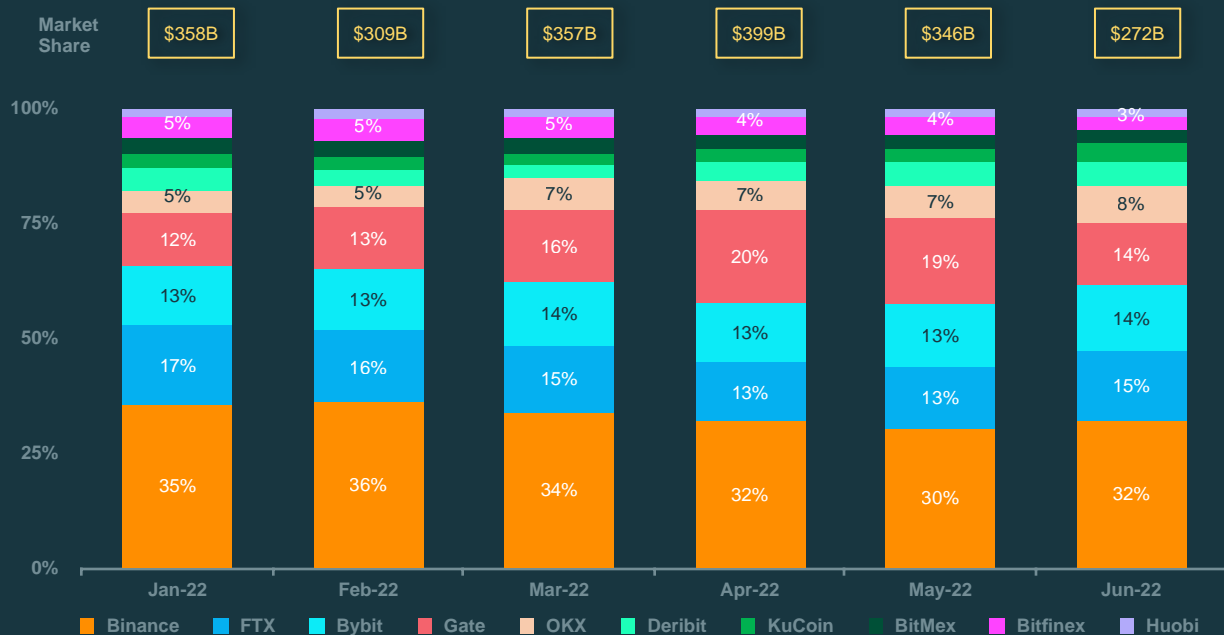
Q1にOKXが獲得した市場シェアは、現在、市場の65%を支配するBinanceに奪還されています。

2022年Q2 デリバティブ取引所 – ビットコイン無期限先物 オープンインタレスト

Gate.ioのオープンインタレストシェアは急上昇しATHを記録。そして最終的にFTXとBybitと同程度になった

ビットコイン無期限先物 オープンインタレストシェア 月間集計 (2022年 1~6月)

合計オープンインタレスト (\$ Billion)



-1.7%

トップ10 BTC無期限先物OI
減少 2022年Q2

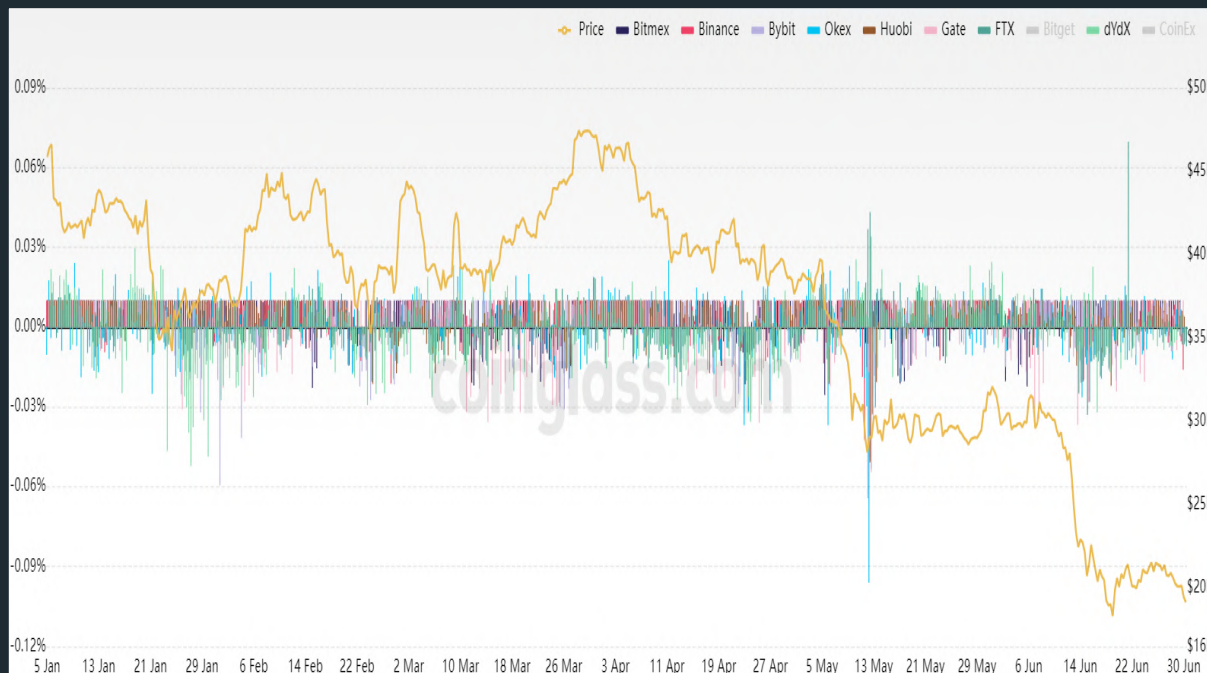
2022年Q2、トップ10デリバティブ取引所における未決済建玉 (OI) は合計1兆100億ドルを記録しました。

Q2に入り、4月に起債残高は3,980億ドルに達し、年初来高値を更新しました。しかし、その後2ヶ月間OIはピークから1,720億ドル (-56.9%) 減少し、6月には2,720億ドルで四半期末を迎えました。

オープンインタレストシェアの3分の1近くを占めるBinanceは、競合であるBybit、Gate.io、FTXと2倍近い差をつけています。

一度清算が二度恥ずかしい - トレーダーは不安定な値動きに学ぶ

ビットコイン無期限先物 資金調達率 8時間 USD-マージン (2022年 1~6月)



0.007% (+0.4 b.p.)

BTC資金調達率 加重平均
2022年7月1日

Q1との比較では、特に大規模清算のようなボラティリティの高い時期を除き、**資金調達金利は比較的中立的な水準で推移しました。**

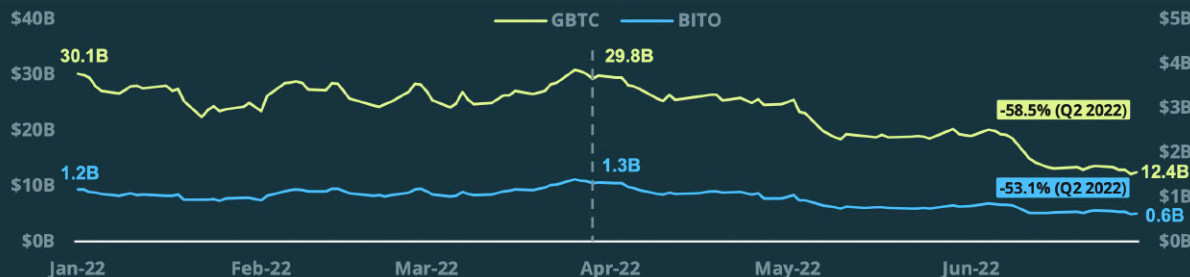
5月に3.9万ドルから3万ドルに下落した後、OKXではマイナス金利が数日間急上昇し（一時は-0.09%まで）、その後中立レベルに戻りました。6月には3万ドルから2万ドルへの2度目の暴落が起こり、**マイナス金利は再び-0.03%台まで急上昇しましたが、5月ほどではありませんでした。**

不安定な値動きは、おそらくトレーダーを投機から遠ざけ、ビットコインの方向性についてより保守的なスタンスを取らせています。例外は6月下旬のdYdXのクジラで、資金調達率が**+0.07%まで急騰し**、ビットコインが22kドルの抵抗ラインを突破できなかった後、市場は再び反転の希望を閉ざしたようです。

2022年Q2 GBTC 及び BITO パフォーマンス

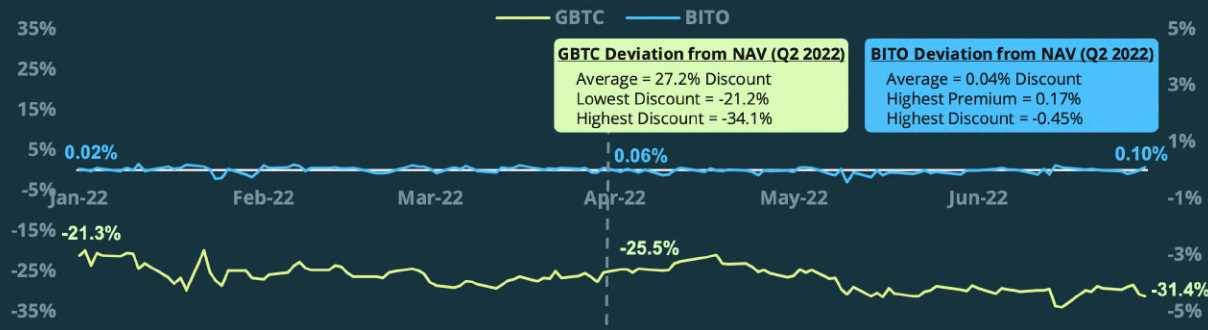
GBTC及びBITOのAUMは横ばい、SECはGBTCのビットコインスポットETF申請を却下

GBTC & BITO 合計AUM(運用資産残高) (2022年 1~6月)



GBTCとBITOのAUM(運用資産残高)は、当然ながらQ2のBTCの値動きを反映し、それぞれ-58.5%と-53.1%の大幅な下落を記録しました。GBTCはAUMが半分の124億ドルに減少しましたが、最大のBTC投資商品であることに変わりはありません。

GBTC & BITO プレミアム/ディスカウント 及び 純資産総額 (NAV) 2022年Q1-Q2



GBTCはQ2、基準価額から30%以上のディスカウントで取引されるという、前期同様の悲劇が繰り返されました。GBTCの株価は64%以上下落しています。

SECがGBTCのBTCスポットETF申請を却下したため、好転への希望は打ち砕かれました。GBTCはSECの却下に異議を申し立てるため訴訟を開始したため、これから始まる法廷闘争に注目が集まっています。

SECはこれまでNYDIG、Fidelity、Wisdom Treeなど数十の同様の申請を却下してきたため、驚くニュースではありません。

激しい競争の中、BITOは6億ドル超のAUMで独占的なシェアを維持しており、SPBCはわずか8500万ドルで2位につけています。



より多くのコンテンツ!

毎週公開されるプレミアム・リサーチ記事と、その他すべてのコンテンツにアクセス可能



より多くのアルファ!

ホットなプロジェクトやトレンドに関する週刊Gecko Ramblings ニュースレターをお届け



クローズドTelegramグループ

当社のリサーチアナリストやCoinGeckoプレミアムコミュニティの他のメンバーと直接交流することが可能



アドフリー ニュースレター

広告なしの毎日配信ニュースレターや、週一でキャッチアップしたい人のための週まとめも



より多くのキャンディ!

毎日1.2倍多いキャンディを獲得



限定プレミアムNFTs

当社の収集性かつ実用性のあるコレクティブルをGiveaway



電子書籍へのアクセス

How to Bitcoin, DeFi and NFTシリーズが全て無料!



アドフリー

広告なしで全ウェブサイト及びモバイルアプリにアクセス



上記の特典に興味がありますか? [CoinGecko Premium](#)を登録し、こちらのTwitter [@GeckoInsights](#)をフォローしてください!



フォローをよろしくお願いします！





以上です! ご拝読ありがとうございました :)